

**会津若松市
中心市街地活性化に関するアンケート
報告書**

平成25年 1 月

**会津若松市商工課
株式会社まちづくり会津**

【目次】

I. 調査の概要	2
1. 調査の目的.....	3
2. 調査の項目.....	3
3. 調査の仕様.....	3
4. 調査期間.....	3
5. 調査実施体制.....	3
6. 回収結果.....	4
7. 報告書の見方.....	4
8. 調査回答者の属性.....	5
(1)性別.....	5
(2)年齢.....	5
(3)母集団との比較.....	5
(4)職業.....	6
(5)居住形態.....	6
(6)居住地区.....	6
(7)居住年数.....	6
II. 調査結果	7
1. 会津若松市全体について.....	8
(1)住み心地.....	8
(2)定住意識.....	10
(3)良いところ.....	12
(4)問題点.....	14
(5)中心市街地と郊外の利用頻度の比較.....	16
2. 中心市街地について.....	18
(1)利用頻度.....	18
(2)利用しない理由.....	20
(3)利用目的.....	22
(4)行動エリア.....	24
(5)イベントへの参加状況.....	29
(6)イベントへ参加しない理由.....	31
(7)求めるイベント.....	33
(8)現状認識、あるべき姿.....	34
(9)利便性.....	35
(10)問題点.....	37
(11)求める機能.....	39
(12)活性化の必要性.....	41
III. 参考資料	43
1. 調査票.....	44

I . 調査の概要

1. 調査目的

このアンケートは、会津若松市の住み心地やまちづくりについて、市民の皆様が「どのような実感をお持ちなのか」などについて調査しました。

2. 調査項目

- (1) 会津若松市の全体について
- (2) 会津若松市の中心市街地について

3. 調査の仕様

- (1) 調査地域 会津若松市全域
- (2) 調査対象 市内在住者、および市内に通勤・通学されている満16歳以上の男女
- (3) 調査方法

配布方法	調査期間	回収方法
エリアサンプリング(ランダムウォーク)法により、市内全域へポスティングで配布	7月25日～8月10日	郵送回収
市内の県立高校5校において、各校1クラスの生徒、及び教職員へ配布	7月15日～7月31日	回収BOX等
TSUTAYA店頭で配布(神明通り店、年貢店、滝沢店、アピオ店)	8月9日、10日 13日、14日	郵送回収
街頭アンケート(会津稽古堂入口、チャレンジシヨップ yui 結 花咲店舗内)	8月6日～8月10日	街頭回収

4. 調査期間

平成24年7月15日～平成24年8月31日

5. 調査実施体制

- (1) 調査主体 会津若松市商工課、株式会社まちづくり会津
- (2) 調査機関 株式会社まちづくり会津

6. 回収結果

配布数	回収数	回収率
3,000	1,354	45.1%

7. 報告書の見方

- ・調査数 (N=Number of cases) とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、その合計が100%とならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上を回答することが出来る多岐選択式の質問においては、すべての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・調査票における設問及び選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・本調査の回収は1,354件であり、信頼度を95%、標本誤差を3%とした場合の統計学上の必要サンプル数1,059を上回っており、本調査から得られた分析結果は、会津若松市全体としての意見を推定するために十分な精度を得ていると言える。
- ・標本誤差は下記の通りである。

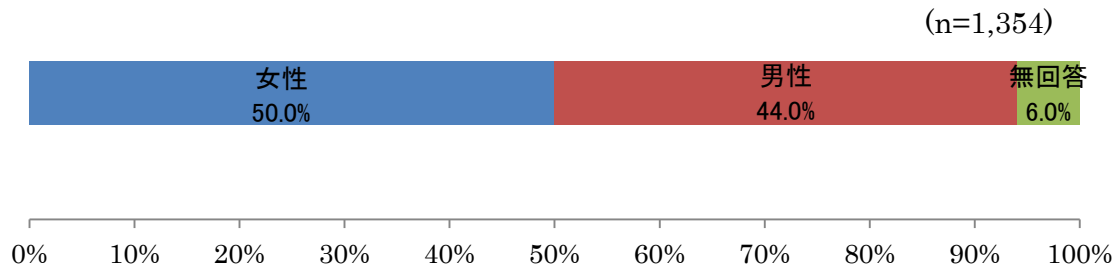
$$\text{標本誤差} = 2 \times \sqrt{\frac{2}{(N-n)/(N-1)} \times \{p \times (1-p)/n\}}$$

※N=母集団 n=比率算出の基数(サンプル数) p=回答比率 (N=125,472、n=1,354)

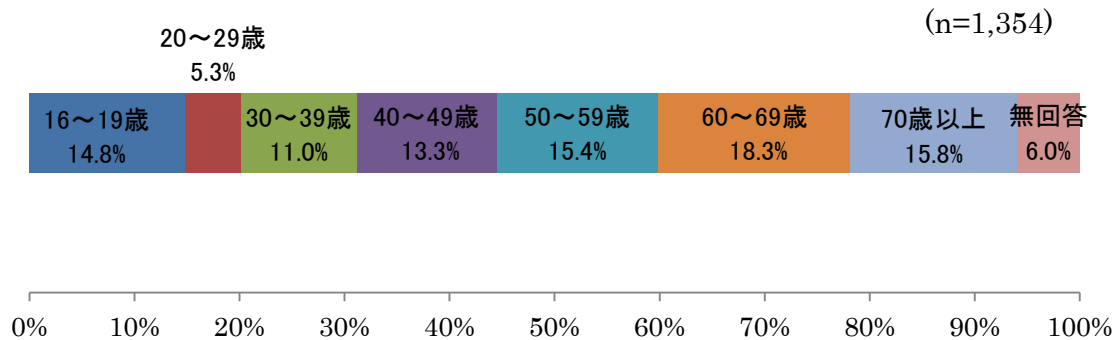
例えば、「ある設問の回答者数が1,354件であり、その設問中の選択肢の回答比率が50%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも2.70%以内(47.30~52.70%)である」とみることができる。ただし、信頼度が95%であるので、そのように判断することは95%の確率で正しいことになる。

8. 調査回答者の属性

(1) 性別



(2) 年齢

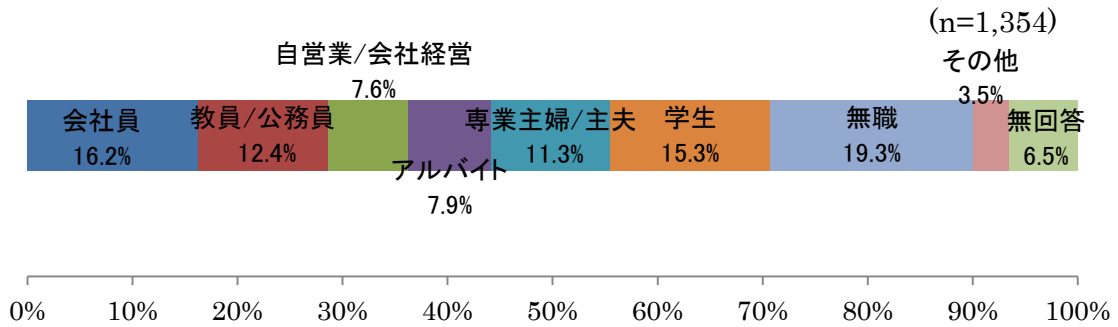


(3) 母集団との比較(会津若松市の人口分布と回答者の人口分布の比較)

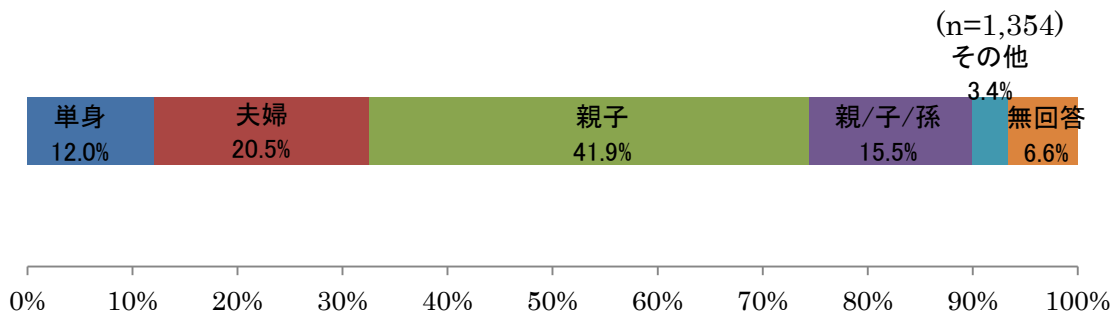
年齢層	母集団		有効回収数		差し引き
	人数	割合 (%)	票数	割合 (%)	割合 (%)
16～19 歳	6,542	6.1%	201	14.8%	8.7%
20～29 歳	10,825	10.1%	72	5.3%	-4.8%
30～39 歳	14,460	13.5%	149	11.0%	-2.5%
40～49 歳	15,209	14.2%	180	13.3%	-0.9%
50～59 歳	17,524	16.4%	209	15.4%	-0.9%
60～69 歳	17,568	16.4%	248	18.3%	1.9%
70歳以上	24,950	23.3%	214	15.8%	-7.5%
無回答			81	6.0%	6.0%
計	107,078	100.0%	1,354	100.0%	0.0%

※母集団は、平成24年8月1日現在「福島県の推計人口(福島県現住人口調査)」による会津若松市の人口データ。

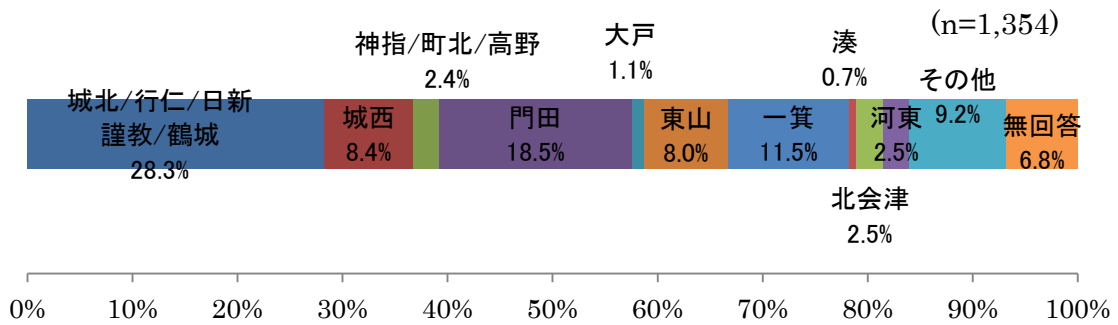
(4) 職業



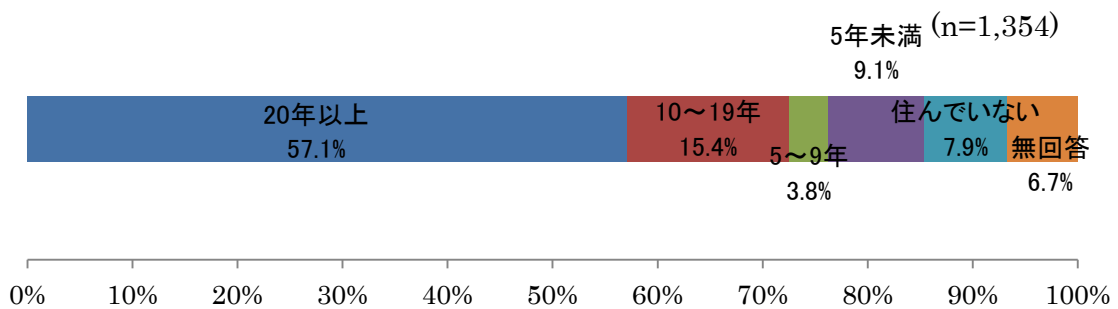
(5) 居住形態



(6) 居住地区



(7) 居住年数

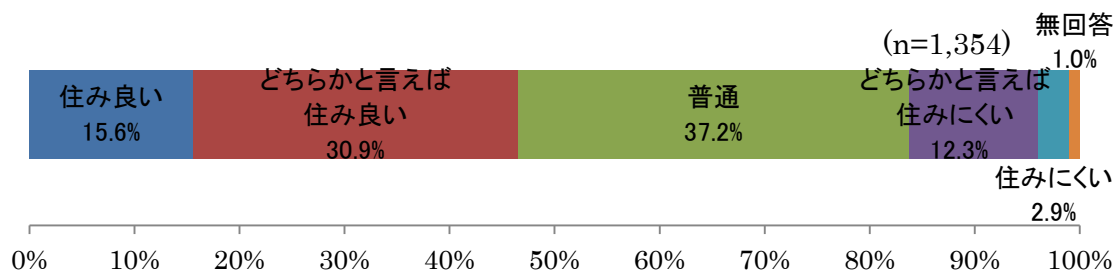


II. 調查結果

1. 会津若松市全体について

(1) 会津若松市の住み心地

問1 現在の会津若松市は、住み良いまちであると思いますか。現在市内にお住みでない方は、住んでいると仮定してお答えください。



【全体】

『住み心地』を全体で見ると、「住み良い」が15.6%、「どちらかと言えば住み良い」が30.9%と、合わせて46.5%が“概ね住み良い”と評価している。

また、「どちらかと言えば住みにくい」が12.3%、「住みにくい」が2.9%と、合わせて15.2%が“概ね住みにくい”と評価している。

【年代別】

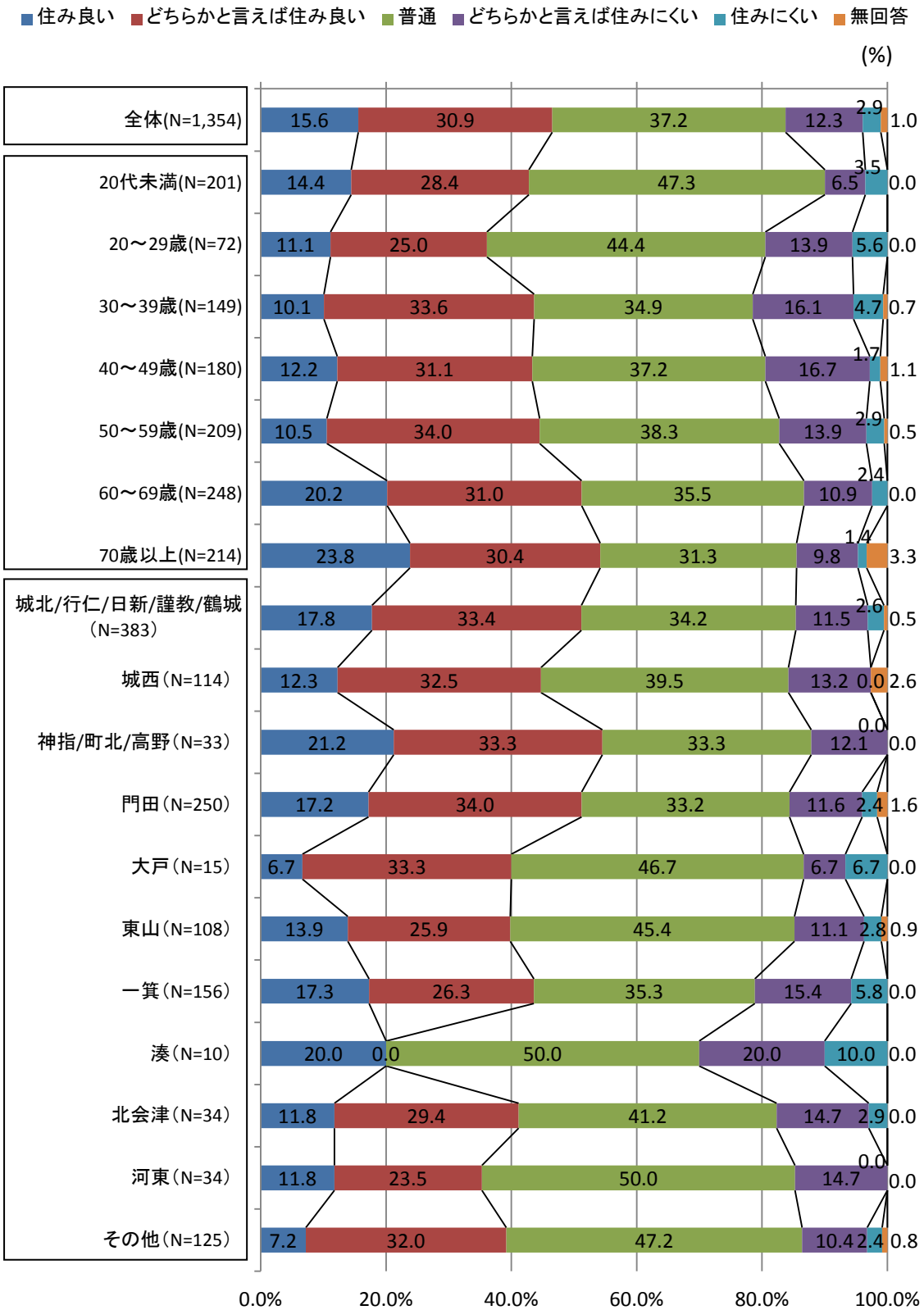
『住み心地』を年齢別で見ると、“概ね住み良い”は20歳代(36.1%)で最も少なくなっている。20歳代以上では年齢が上がるにしたがって“概ね住み良い”が増加する傾向になっており、60歳代以上では5割を超えている。

【居住地別】

『住み心地』を居住地別で見ると、“概ね住み良い”は神指/町北/高野エリア(54.5%)が最も高くなっており、城北/行仁/日新/謹教/鶴城エリア(51.2%)、門田エリア(51.2%)と続いている。

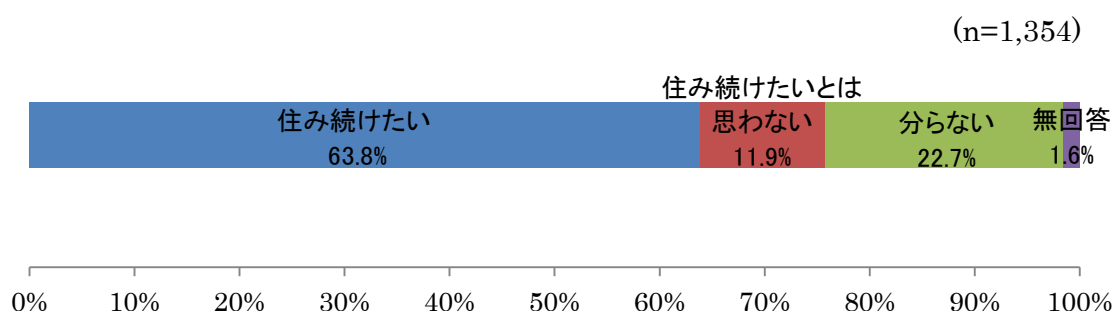
湊エリアでは「住みにくい」(10.0%)、「どちらかと言えば住みにくい」(20.0%)とした割合が最も高くなっており、唯一“概ね住みよい(20.0%)”よりも“概ね住みにくい(30.0%)”が多くなっている。

(問1×年代、問1×居住地)



(2)会津若松市での定住意識

問2 あなたは、これからも会津若松市に住み続けたいと思いますか。現在市内にお住みでない方は、住んでいると仮定してお答えください。



【全体】

『定住意識』を全体でみると、「これからも住み続けたい」が63.8%で、「住み続けたいとは思わない」(11.9%)を大きく上回っている。

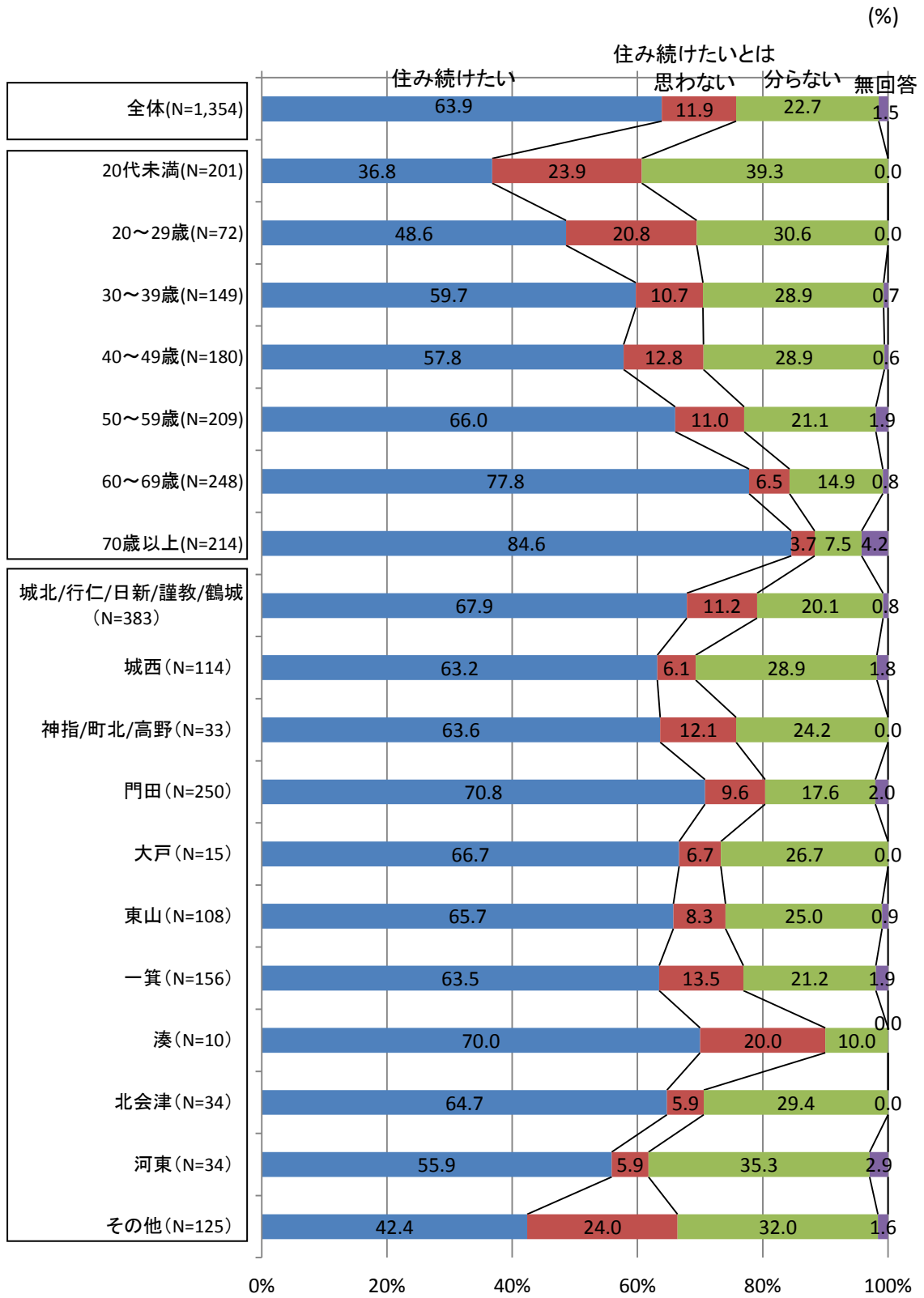
【年代別】

『定住意識』を年代別でみると、40歳代ではやや低くなっているものの年齢が上がるにしたがって「住み続けたい」が増加する傾向になっており、「住み続けたいとは思わない」は年齢が上がるにしたがって減少している。10歳代では「住み続けたい」は36.8%であるが、70歳代以上では84.6%と2倍以上になっている。

【居住地別】

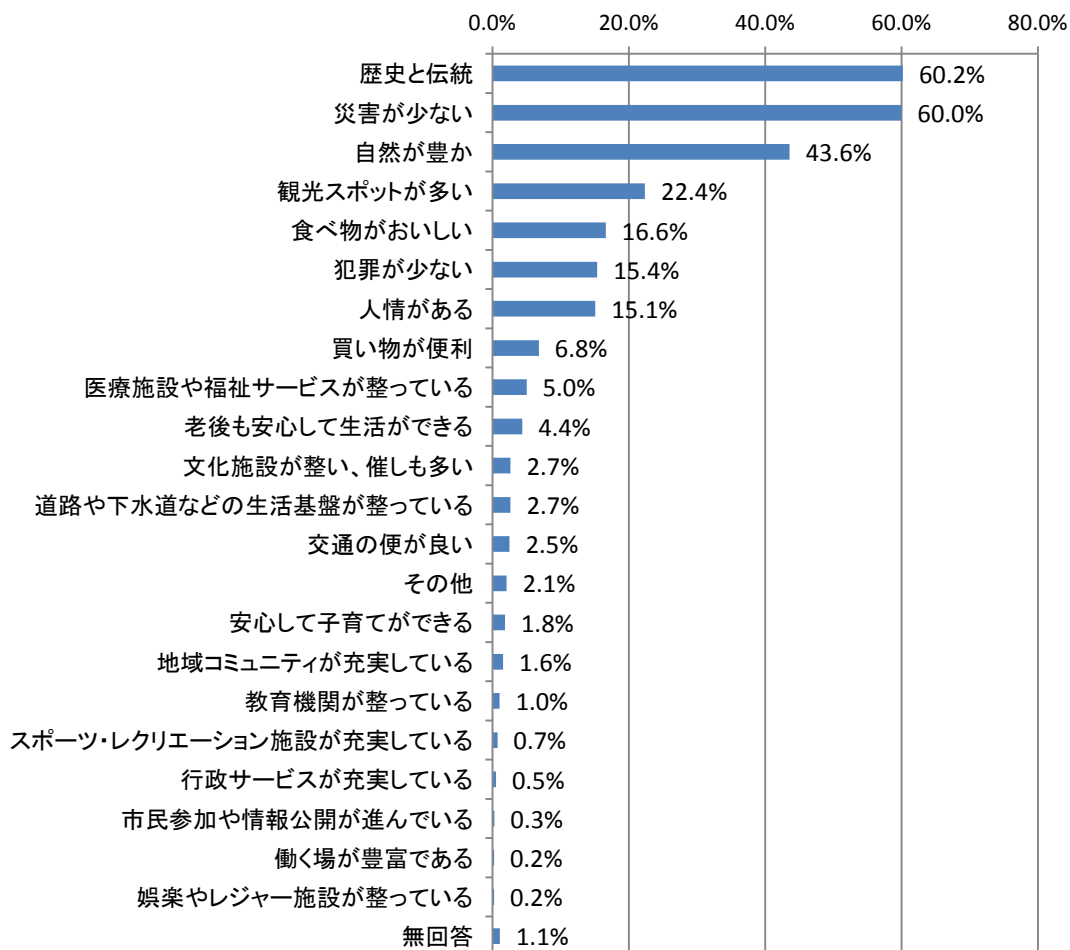
『定住意識』を居住地別でみると、門田エリアで「住み続けたい」が70.8%と最も多くなっている。また、問1の住み心地に関する設問で“概ね住みにくい”とした割合が最も高かった湊エリアでは、「住み続けたいとは思わない」(20.0%)の割合が最も多くなっている。

(問2×年代、問2×居住地)



(3)会津若松市の良いところ

問3 会津若松市の良いところ・自慢できる場所はどこですか？（該当する番号に3つまで○印を付けて下さい）



【全体】

『会津若松市の良いところ』を全体で見ると、「歴史と伝統」(60.2%)、「災害が少ない」(60.0%)、「自然が豊か」(43.6%)、「観光スポットが多い」(22.4%)が多くなっており、会津若松市の歴史にかかわる項目や、自然環境にかかわる項目が多くなっている。

【年代別】

『会津若松市の良いところ』を年代別で見ると、40歳代までは「歴史と伝統」が最も多いのに対して、50歳代以上では「災害が少ない」が最も多くなっている。

【居住地別】

『会津若松市の良いところ』を居住地別で見ると、特に大きな差は見られない。

(問3×年代、問3×居住地)

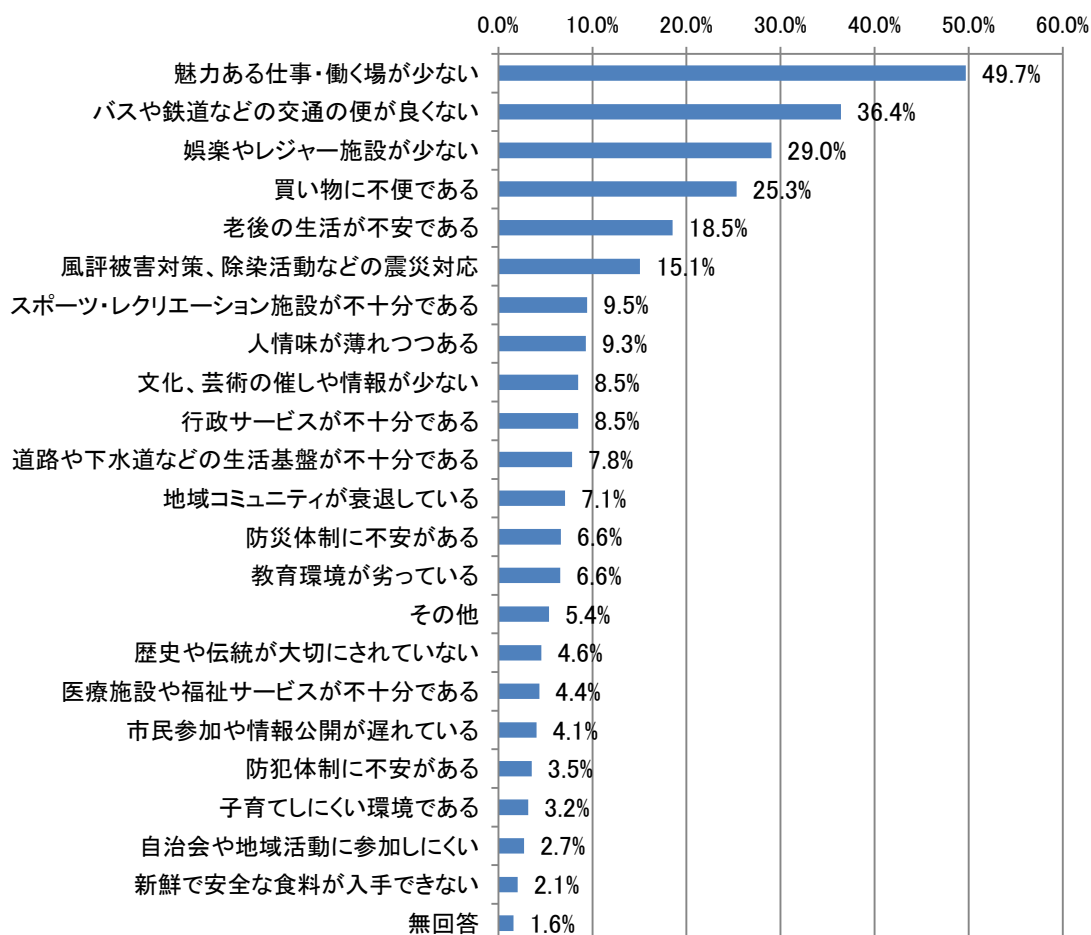
(%)

	歴史と伝統	災害が少ない	自然が豊か	観光スポット	食べ物がおいしい	犯罪が少ない	人情がある	買い物 convenient	医療施設の整備	老後も安心して生活ができる	文化施設の充実	上下水道などの生活基盤
全体(N=1,354)	60.2	60.0	43.6	22.4	16.6	15.4	15.1	6.8	5.0	4.4	2.7	2.7
20代未満(N=201)	60.7	41.8	32.3	16.4	19.4	12.4	19.4	9.0	1.5	3.0	7.0	2.0
20～29歳(N=72)	63.9	31.9	52.8	16.7	22.2	13.9	29.2	6.9	5.6	0.0	1.4	1.4
30～39歳(N=149)	62.4	45.6	39.6	16.8	18.1	15.4	17.4	6.7	2.7	1.3	4.0	2.0
40～49歳(N=180)	69.4	57.2	46.7	22.2	17.2	17.8	14.4	1.7	5.6	1.7	1.7	3.3
50～59歳(N=209)	61.2	65.6	42.6	29.2	17.7	13.4	14.8	6.7	4.8	1.9	0.5	2.4
60～69歳(N=248)	52.8	78.2	52.8	26.2	16.1	15.3	10.1	5.6	5.2	7.3	0.8	2.8
70歳以上(N=214)	56.1	69.6	43.9	22.4	9.3	17.8	11.7	11.7	9.3	10.7	3.3	4.2
城北/行仁/日新/謹教/鶴城(N=383)	59.8	64.2	42.0	21.7	14.4	12.8	13.8	8.6	7.3	4.2	2.1	3.7
城西(N=114)	61.4	65.8	38.6	26.3	8.8	18.4	16.7	4.4	1.8	8.8	0.9	3.5
神指/町北/高野(N=33)	63.6	51.5	48.5	27.3	15.2	6.1	15.2	3.0	6.1	3.0	6.1	0.0
門田(N=250)	59.6	60.0	48.0	20.0	14.0	16.8	18.0	8.8	4.0	4.4	1.6	0.8
大戸(N=15)	40.0	66.7	46.7	26.7	6.7	20.0	20.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0
東山(N=108)	66.7	66.7	47.2	20.4	27.8	18.5	8.3	7.4	5.6	2.8	1.9	3.7
一箕(N=156)	53.2	57.7	46.2	26.9	17.3	16.7	12.2	4.5	5.8	6.4	3.2	1.9
湊(N=10)	70.0	60.0	80.0	10.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
北会津(N=34)	55.9	47.1	52.9	26.5	23.5	17.6	11.8	2.9	2.9	2.9	0.0	8.8
河東(N=34)	58.8	61.8	50.0	17.6	17.6	11.8	29.4	2.9	0.0	5.9	2.9	0.0
その他(N=125)	64.8	40.0	36.0	20.8	22.4	14.4	16.0	8.0	4.8	0.8	8.8	1.6

	交通の便が良い	その他	安心して子育てができる	地域コミュニティの充実	教育機関の充実	スポーツ施設の充実	行政サービス	市民参加や情報公開	働く場所がある	娯楽施設の充実	無回答
全体(N=1,354)	2.5	2.1	1.8	1.6	1.0	0.7	0.5	0.3	0.2	0.2	1.1
20代未満(N=201)	3.5	3.5	2.0	3.5	2.5	2.5	0.5	0.5	1.0	1.0	0.0
20～29歳(N=72)	0.0	2.8	1.4	1.4	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2
30～39歳(N=149)	2.7	4.7	3.4	2.0	0.7	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	1.3
40～49歳(N=180)	2.2	0.0	2.2	1.1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50～59歳(N=209)	1.0	1.4	1.9	1.0	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	1.4
60～69歳(N=248)	2.0	1.6	1.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.4	0.4
70歳以上(N=214)	5.1	1.4	1.4	1.9	1.9	0.9	1.9	0.5	0.0	0.0	1.9
城北/行仁/日新/謹教/鶴城(N=383)	3.1	2.3	1.0	1.8	1.8	0.3	0.0	0.0	0.3	0.5	1.3
城西(N=114)	4.4	1.8	2.6	1.8	0.9	0.0	0.9	0.9	0.0	0.0	0.9
神指/町北/高野(N=33)	3.0	3.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
門田(N=250)	2.4	0.8	3.2	1.2	0.0	0.8	0.8	0.4	0.0	0.0	1.6
大戸(N=15)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
東山(N=108)	1.9	0.0	5.6	0.9	0.0	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.9
一箕(N=156)	0.6	3.8	0.6	0.6	1.9	0.6	0.0	0.6	0.0	0.6	0.6
湊(N=10)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北会津(N=34)	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
河東(N=34)	5.9	0.0	0.0	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0
その他(N=125)	3.2	3.2	0.8	1.6	0.8	2.4	0.8	0.8	0.8	0.0	0.8

(4)会津若松市の問題点

問 4 会津若松市の問題点・課題とは何ですか？（該当する番号に3つまで○印を付けて下さい）



【全体】

『会津若松市の問題点』を全体で見ると、「魅力ある仕事・職場が少ない」(49.7%)、「バスや鉄道などの交通の便が良くない」(36.4%)、「娯楽やレジャー施設が少ない」(29.0%)、「買い物について不便である」(25.3%)などが多くなっている。

【年代別】

『会津若松市の問題点』を年代別で見ると、20歳未満では「娯楽やレジャー施設が少ない」(50.2%)が、20歳代では「バスや鉄道などの交通の便が良くない」(41.7%)が、30歳代以上では「魅力ある仕事・働く場所が少ない」が、それぞれ最も多くなっている。

【居住地別】

『会津若松市の問題点』を居住地別で見ると、特に大きな差は見られない。

(問4×年代、問4×居住地)

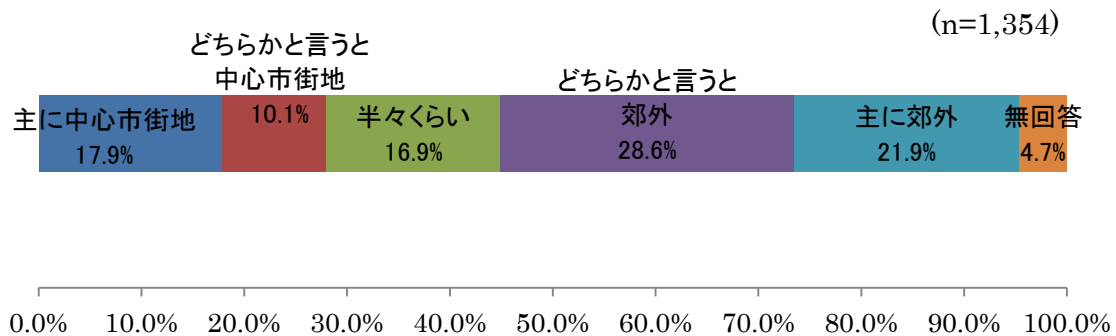
(%)

	魅力ある仕事・働く場が少ない	バスや鉄道などの交通の便が良くない	娯楽やレジャー施設が少ない	買い物に不便である	老後の生活が不安である	風評被害対策、除染活動などの震災対応	エーション施設が不十分である	スポーツ・レクリエーション施設が不十分である	人情味が薄れつつある	文化、芸術の催しや情報が少ない	行政サービスが不十分である	道路や下水道などの生活基盤が不十分である	地域コミュニティが衰退している
全体(N=1,354)	49.7	36.4	29.0	25.3	18.5	15.1	9.5	9.3	8.5	8.5	7.8	7.1	
20代未満(N=201)	33.8	36.8	50.2	31.8	3.5	13.4	22.9	7.5	5.5	1.5	4.0	3.5	
20～29歳(N=72)	38.9	41.7	36.1	25.0	6.9	22.2	12.5	4.2	8.3	9.7	6.9	6.9	
30～39歳(N=149)	49.0	28.2	38.9	22.8	12.8	16.8	8.7	7.4	9.4	14.1	4.0	8.1	
40～49歳(N=180)	47.8	42.8	32.2	34.4	14.4	13.9	8.9	2.8	8.3	7.2	9.4	3.9	
50～59歳(N=209)	60.3	39.2	24.4	28.2	19.6	12.9	7.7	7.7	11.0	9.1	9.6	7.2	
60～69歳(N=248)	64.9	33.9	21.4	18.5	29.0	15.7	6.5	8.9	9.7	8.9	10.1	8.9	
70歳以上(N=214)	41.6	35.0	13.6	19.6	30.8	14.5	1.9	21.0	8.9	7.9	8.4	11.2	
城北/行仁/日新/謹教/鶴城(N=383)	52.5	31.9	30.5	28.2	19.8	12.3	9.7	9.4	8.9	9.1	7.8	7.3	
城西(N=114)	49.1	38.6	24.6	16.7	15.8	17.5	8.8	11.4	10.5	9.6	10.5	7.0	
神指/町北/高野(N=33)	51.5	39.4	27.3	27.3	18.2	6.1	18.2	9.1	9.1	0.0	12.1	0.0	
門田(N=250)	50.4	36.8	29.2	18.4	20.0	18.4	7.2	7.2	7.6	9.6	10.8	7.2	
大戸(N=15)	53.3	46.7	26.7	40.0	26.7	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	6.7	6.7	
東山(N=108)	53.7	38.9	25.9	26.9	21.3	12.0	5.6	9.3	11.1	12.0	2.8	8.3	
一箕(N=156)	52.6	34.6	30.8	26.9	17.9	19.2	10.9	12.2	8.3	8.3	5.1	9.6	
湊(N=10)	30.0	40.0	0.0	40.0	20.0	40.0	20.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	
北会津(N=34)	47.1	47.1	38.2	26.5	8.8	5.9	5.9	5.9	20.6	2.9	2.9	2.9	
河東(N=34)	61.8	44.1	23.5	47.1	20.6	14.7	2.9	5.9	8.8	2.9	5.9	5.9	
その他(N=125)	32.8	40.0	35.2	28.0	13.6	16.0	14.4	8.8	6.4	2.4	8.0	7.2	

	防災体制に不安がある	教育環境が劣っている	その他	歴史や伝統が大切にされている	サービスが充実している	医療施設が充実している	市民参加が遅れている	防犯体制に不安がある	子育てしやすい環境である	自治会や地域活動に参加しやすい	新鮮で安全な食料が入手できる	無回答
全体(N=1,354)	6.6	6.6	5.4	4.6	4.4	4.1	3.5	3.2	2.7	2.1	1.6	
20代未満(N=201)	4.0	3.5	4.5	1.0	1.0	2.0	4.5	1.0	4.0	2.0	3.0	
20～29歳(N=72)	8.3	1.4	5.6	2.8	2.8	5.6	4.2	1.4	1.4	1.4	1.4	
30～39歳(N=149)	2.0	9.4	6.0	6.7	3.4	0.7	4.7	13.4	2.0	0.7	0.0	
40～49歳(N=180)	3.9	11.1	5.6	3.3	3.3	3.3	4.4	6.1	1.1	1.7	0.0	
50～59歳(N=209)	3.3	7.7	7.2	4.8	3.3	3.8	3.3	1.9	1.4	1.9	0.5	
60～69歳(N=248)	11.7	4.8	4.0	6.5	5.2	4.8	2.4	1.2	4.0	1.6	0.8	
70歳以上(N=214)	10.7	4.2	4.2	5.6	8.4	7.5	3.3	0.9	4.2	4.7	5.1	
城北/行仁/日新/謹教/鶴城(N=383)	7.8	6.5	4.4	4.7	3.9	5.0	4.2	3.1	2.6	1.8	1.6	
城西(N=114)	7.0	7.9	3.5	4.4	6.1	5.3	3.5	2.6	3.5	6.1	2.6	
神指/町北/高野(N=33)	3.0	0.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	6.1	6.1	0.0	
門田(N=250)	9.2	4.0	6.4	4.4	6.4	3.6	3.2	2.0	1.6	2.0	1.2	
大戸(N=15)	0.0	13.3	6.7	6.7	0.0	6.7	6.7	13.3	0.0	0.0	6.7	
東山(N=108)	5.6	10.2	7.4	5.6	3.7	1.9	5.6	5.6	1.9	0.0	2.8	
一箕(N=156)	5.1	5.1	5.1	5.8	2.6	3.2	2.6	6.4	3.2	0.6	0.6	
湊(N=10)	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	
北会津(N=34)	0.0	8.8	5.9	8.8	2.9	5.9	2.9	5.9	8.8	2.9	0.0	
河東(N=34)	5.9	11.8	5.9	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	
その他(N=125)	3.2	4.0	4.8	3.2	1.6	1.6	4.8	0.0	2.4	3.2	2.4	

(5) 中心市街地と郊外の利用頻度の比較

問 5 日常生活で主に中心市街地と郊外のどちらを利用されていますか。



【全体】

『中心市街地と郊外の利用頻度』を全体でみると、「どちらかと言うと郊外」を利用しているが28.6%、「主に郊外」を利用しているが21.9%と、合わせると5割以上が郊外の方が利用頻度が高いと回答している。

【年代別】

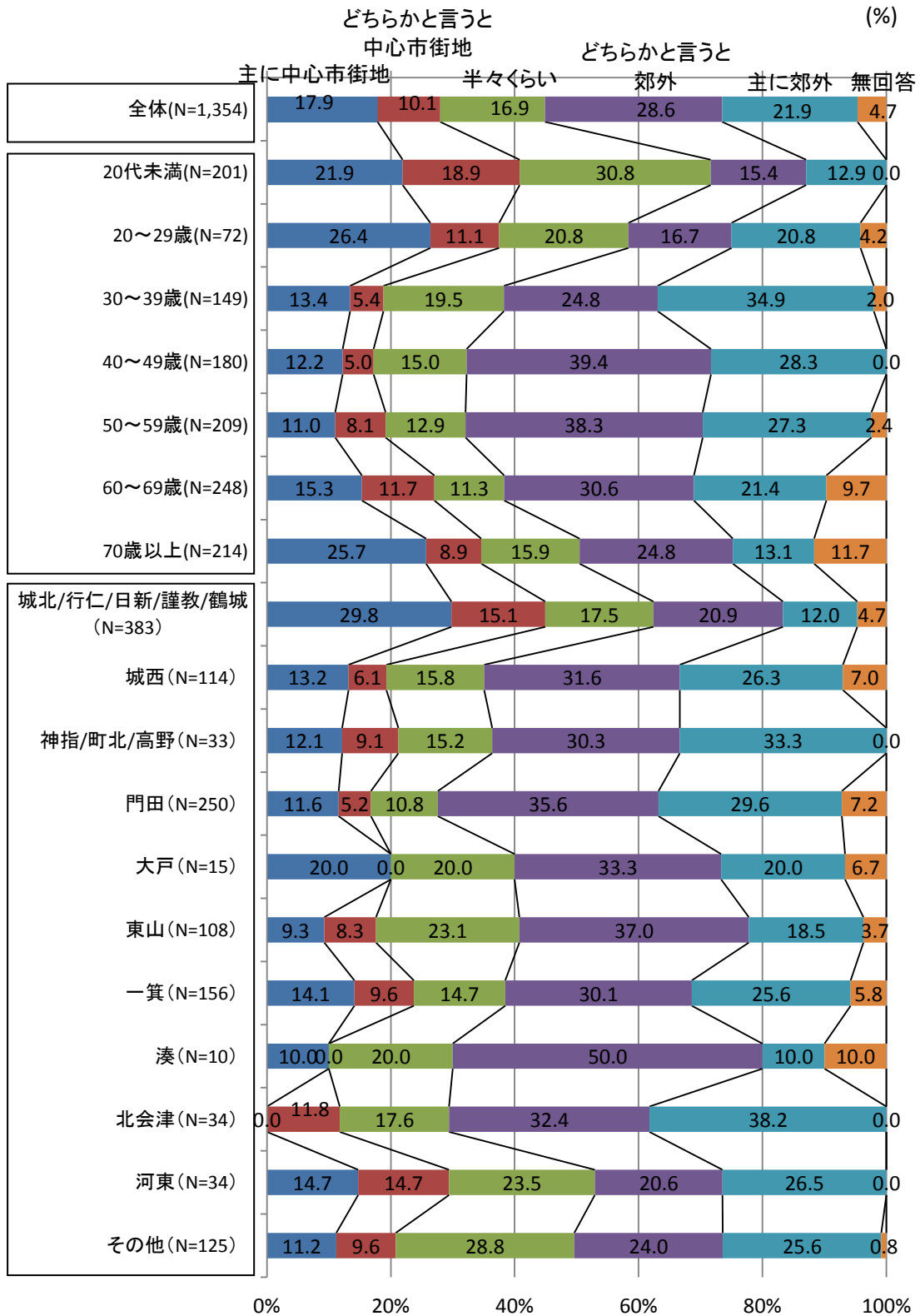
『中心市街地と郊外の利用頻度』を年代別でみると、「どちらかと言うと郊外」と「主に郊外」を合わせた“概ね郊外を利用する”は40歳代(67.7%)で最も高く、40歳代から年代が上下に離れるほど、その割合は低くなる傾向にある。

「主に中心市街地」と「どちらかと言うと中心市街地」を合わせた“概ね中心市街地を利用する”は、20歳未満(40.8%)が最も多くなっている。

【居住地別】

『中心市街地と郊外の利用頻度』を居住地別にみると、“概ね中心市街地を利用する”は中心市街地をカバーする城北/行仁/日新/謹教/鶴城エリアで44.9%と最も高くなっているが、その他のエリアでは“概ね郊外を利用する”が5割を超えている(河東エリアを除く)。

(問5×年代、問5×居住地)

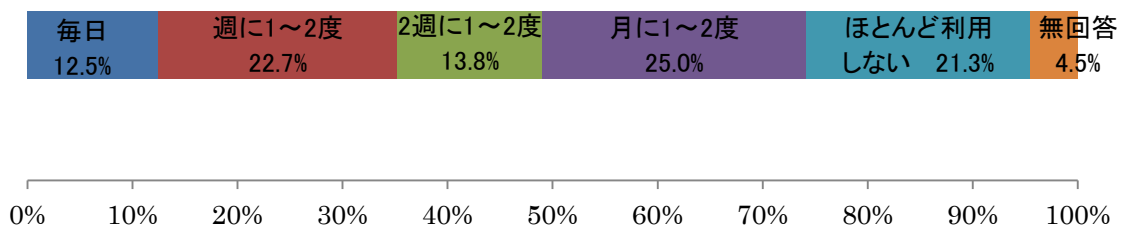


2. 中心市街地について

(1) 中心市街地の利用頻度

問 6 中心市街地をどのくらいの頻度で利用されますか。

(n=1,354)



【全体】

『中心市街地の利用頻度』を全体で見ると、「月に1~2度程度」が25.0%と最も多く、次いで「週に1~2度程度」(22.7%)となっている。「ほとんど利用しない」は21.3%となっており、約5人に1人はほとんど中心市街地を利用していないと回答している。

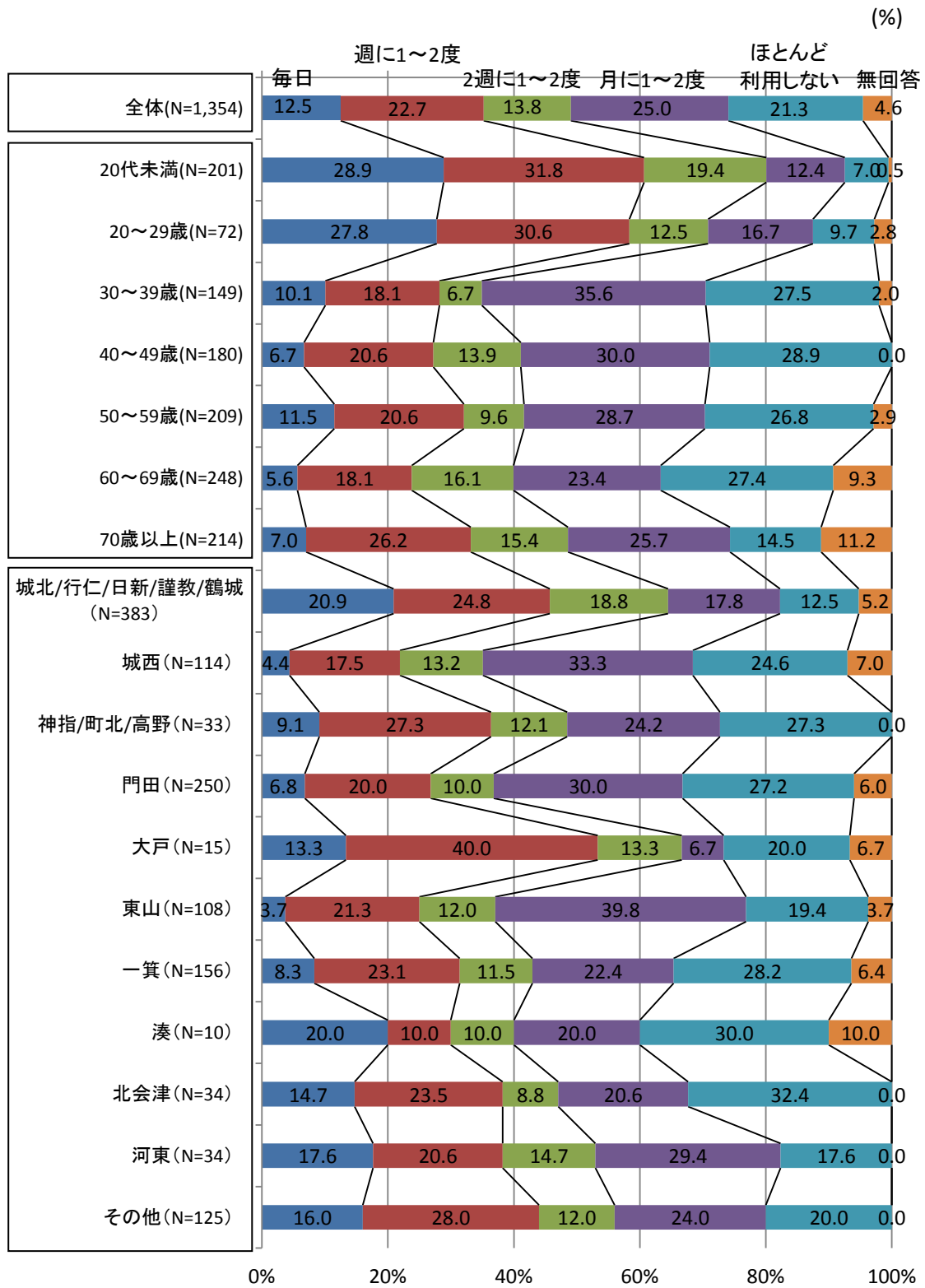
【年代別】

『中心市街地の利用頻度』を年代別で見ると、20歳未満の中心市街地の利用頻度が高くなっており、「毎日」(28.9%)、および「週に1~2度」(31.8%)ともに他の世代に比べて最も高くなっている。

【居住地別】

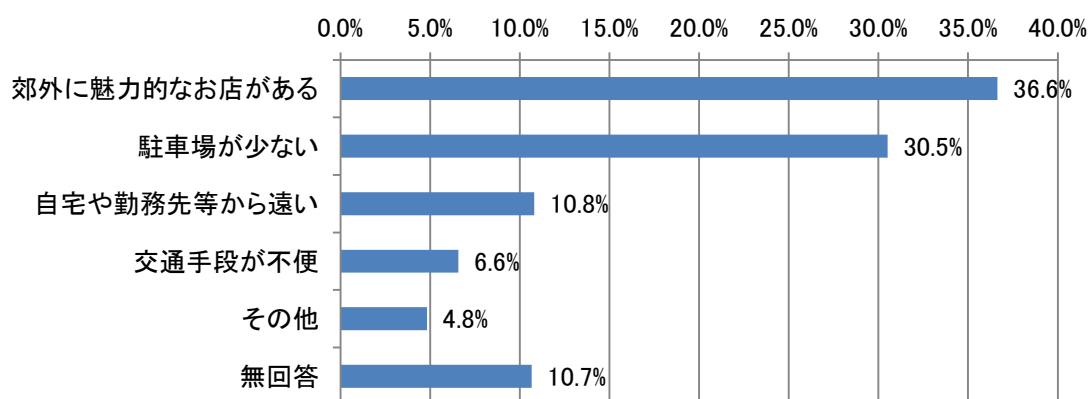
『中心市街地の利用頻度』を居住地別で見ると、「毎日」および「週に1~2度」を合わせた“概ね頻繁に利用する”とした割合は、大戸エリア(53.3%)で最も高くなっている。

(問6×年代、問6×居住地)



(2) 中心市街地を利用しない理由

問 7 中心市街地を利用されない理由はなんですか。(問 5 で主に郊外を利用していると答えた方へ質問。)



【全体】

『中心市街地を利用しない理由』を全体で見ると、「郊外に魅力的なお店がある」が36.6%と最も多く、次いで「駐車場が少ない」(30.5%)、「自宅や勤務先等から遠い」(10.8%)となっている。駐車場については、“無料”の駐車場がないためとの注意書きが多く見受けられた。

【年代別】

『中心市街地を利用しない理由』を年代別で見ると、20歳未満では「自宅や勤務先から遠い」(27.6%)の割合が他世代に比べて高くなっており、「郊外に魅力的なお店がある」(27.6%)と同比率で最も多くなっている。20歳以上では「郊外に魅力的なお店がある」が最も多くなっており、「駐車場が少ない」が続いている。

【居住地別】

『中心市街地を利用しない理由』を居住地別で見ると、中心市街地から比較的離れている湊エリア・大戸エリア・河東エリアで、「駐車場が少ない」が「郊外に魅力的なお店がある」よりも高くなっている(河東エリアは同じ割合)。

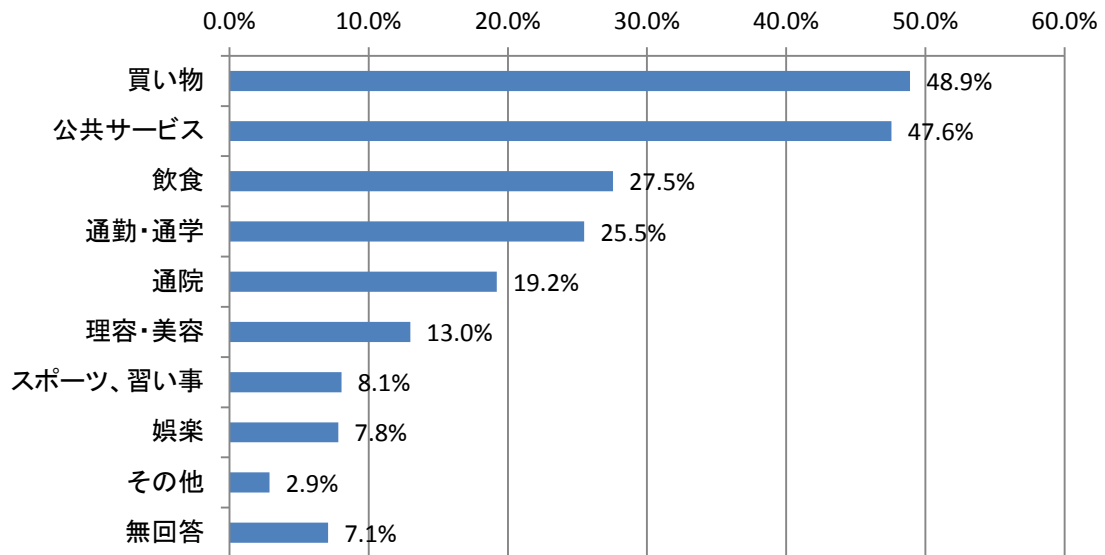
(問7×年代、問7×居住地)

(%)

	な お 外 に 魅 あ る 的	駐 車 場 が 少 な い	自 宅 や 勤 務 先 等 か ら 遠 い	交 通 手 段 が 不 便	そ の 他	無 回 答
全体(N=685)	36.6	30.5	10.8	6.6	4.8	10.7
20代未満(N=58)	27.6	1.7	27.6	3.4	5.2	34.5
20～29歳(N=27)	40.7	33.3	14.8	14.8	7.4	18.5
30～39歳(N=88)	55.7	45.5	4.5	8.0	4.5	3.4
40～49歳(N=121)	45.5	40.5	7.4	8.3	5.0	9.1
50～59歳(N=137)	49.6	29.9	16.1	6.6	5.1	10.2
60～69歳(N=129)	55.0	27.9	12.4	4.7	8.5	7.0
70歳以上(N=84)	40.5	23.8	6.0	22.6	7.1	10.7
城北/行仁/日新/謹教/鶴城 (N=126)	54.0	34.9	4.0	7.1	3.2	12.7
城西(N=65)	52.3	26.2	10.8	13.8	4.6	9.2
神指/町北/高野(N=21)	47.6	28.6	9.5	9.5	4.8	9.5
門田(N=162)	46.9	27.2	17.9	9.9	6.8	8.6
大戸(N=8)	12.5	37.5	0.0	0.0	12.5	37.5
東山(N=60)	55.0	30.0	8.3	10.0	8.3	3.3
一箕(N=88)	47.7	29.5	5.7	6.8	8.0	13.6
湊(N=7)	14.3	42.9	0.0	28.6	0.0	14.3
北会津(N=24)	54.2	37.5	8.3	8.3	16.7	16.7
河東(N=16)	43.8	43.8	6.3	12.5	6.3	0.0
その他(N=65)	26.2	30.8	29.2	4.6	3.1	16.9

(3) 中心市街地の利用目的

問 8 中心市街地を利用する目的はなんですか。



【全体】

『中心市街地を利用する目的』を全体でみると、「買い物」が48.9%と最も多く、次いで「公共サービス」(47.6%)、「飲食」(27.5%)、「通勤・通学」(25.5%)となっている。

【年代別】

『中心市街地を利用する目的』を年代別でみると、10～20歳代では「買い物」が最も多くなっている一方で、30歳代以上では「公共サービス」が最も多くなっている。

【居住地別】

『中心市街地を利用する目的』を居住地別でみると、湊エリアでは「通院」(50.0%)が最も多くなっている。

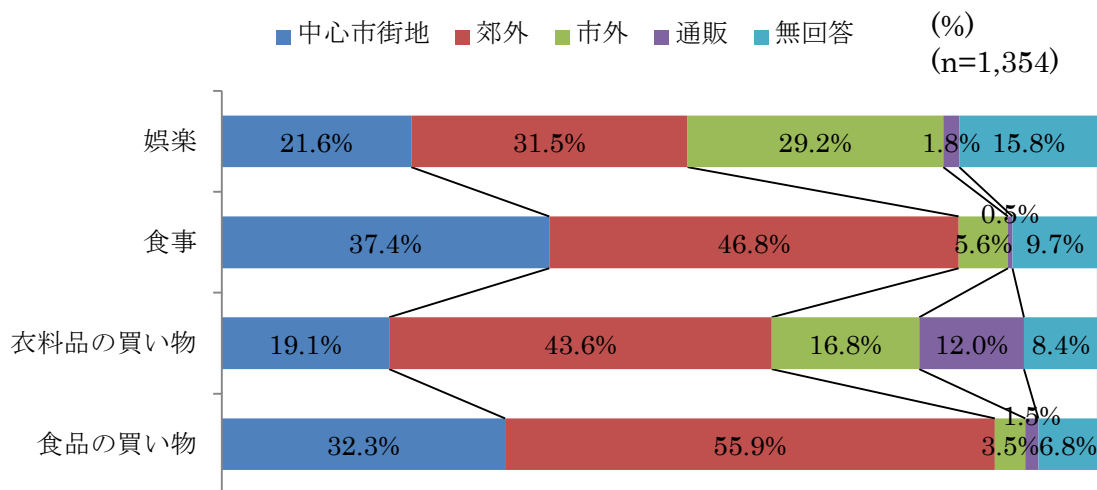
(問8×年代、問8×居住地)

(%)

	買い物	公共サービス	飲食	通勤・通学	通院	理容・美容	スポーツ、習い事	娯楽	その他	無回答
全体(N=1,354)	48.9	47.6	27.5	25.5	19.2	13.0	8.1	7.8	2.9	7.1
20代未満(N=201)	70.1	3.0	24.4	57.2	3.0	7.0	11.4	28.4	2.0	1.5
20～29歳(N=72)	58.3	27.8	41.7	45.8	2.8	11.1	5.6	11.1	0.0	4.2
30～39歳(N=149)	40.3	48.3	34.2	28.2	10.7	12.1	7.4	6.7	5.4	4.0
40～49歳(N=180)	40.0	64.4	23.3	28.9	13.9	11.7	8.9	4.4	2.2	2.2
50～59歳(N=209)	39.7	57.4	35.4	25.4	21.5	11.5	5.7	26.8	1.9	6.7
60～69歳(N=248)	42.7	59.3	27.0	10.1	25.0	14.9	8.1	4.4	4.4	13.3
70歳以上(N=214)	53.3	57.9	17.3	3.3	39.7	19.2	8.9	0.9	3.3	15.4
城北/行仁/日新/謹教/鶴城(N=383)	60.8	47.3	28.2	27.9	21.7	14.6	9.1	6.8	2.6	5.5
城西(N=114)	39.5	48.2	25.4	21.1	15.8	10.5	7.9	7.0	3.5	10.5
神指/町北/高野(N=33)	54.5	54.5	36.4	24.2	15.2	12.1	6.1	12.1	3.0	0.0
門田(N=250)	35.2	54.0	25.2	20.0	20.4	10.0	7.6	7.6	2.4	12.4
大戸(N=15)	46.7	80.0	13.3	33.3	46.7	13.3	0.0	6.7	6.7	6.7
東山(N=108)	48.1	52.8	34.3	15.7	20.4	16.7	12.0	4.6	4.6	6.5
一箕(N=156)	39.7	51.9	26.3	19.9	15.4	14.7	9.0	5.1	5.1	11.5
湊(N=10)	30.0	40.0	20.0	40.0	50.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
北会津(N=34)	38.2	38.2	32.4	35.3	5.9	5.9	5.9	14.7	5.9	8.8
河東(N=34)	55.9	52.9	14.7	38.2	29.4	20.6	14.7	5.9	0.0	0.0
その他(N=125)	55.2	23.2	29.6	41.6	9.6	8.8	3.2	16.8	0.8	0.8

(4)行動エリア

問9 食品の買い物/衣料品の買い物/食事/娯楽について、主にどのエリアを利用されていますか。



【全体】

『行動エリア』を全体で見ると、全ての利用シーンにおいて「中心市街地」を「郊外」が上回っている。「市外」と「通販」を合わせた“概ね会津以外”を見てみると、「娯楽」、および「衣料品の買い物」の利用シーンで約3割となっている。

<娯楽>

『娯楽の行動エリア』を全体で見ると、「中心市街地」(21.6%)よりも、「郊外」(31.5%)、および「市外」(29.2%)が高くなっている。また、年代別で見ると、20～50歳代では「市外」の割合が約4割と他の年代に比べて高くなっている。

<食事>

『食事の行動エリア』を年代別で見ると、30～60歳代では「郊外」の割合が最も高く、20歳代以下、および70歳以上では「中心市街地」の割合が最も高くなっている。

<衣料品の買い物>

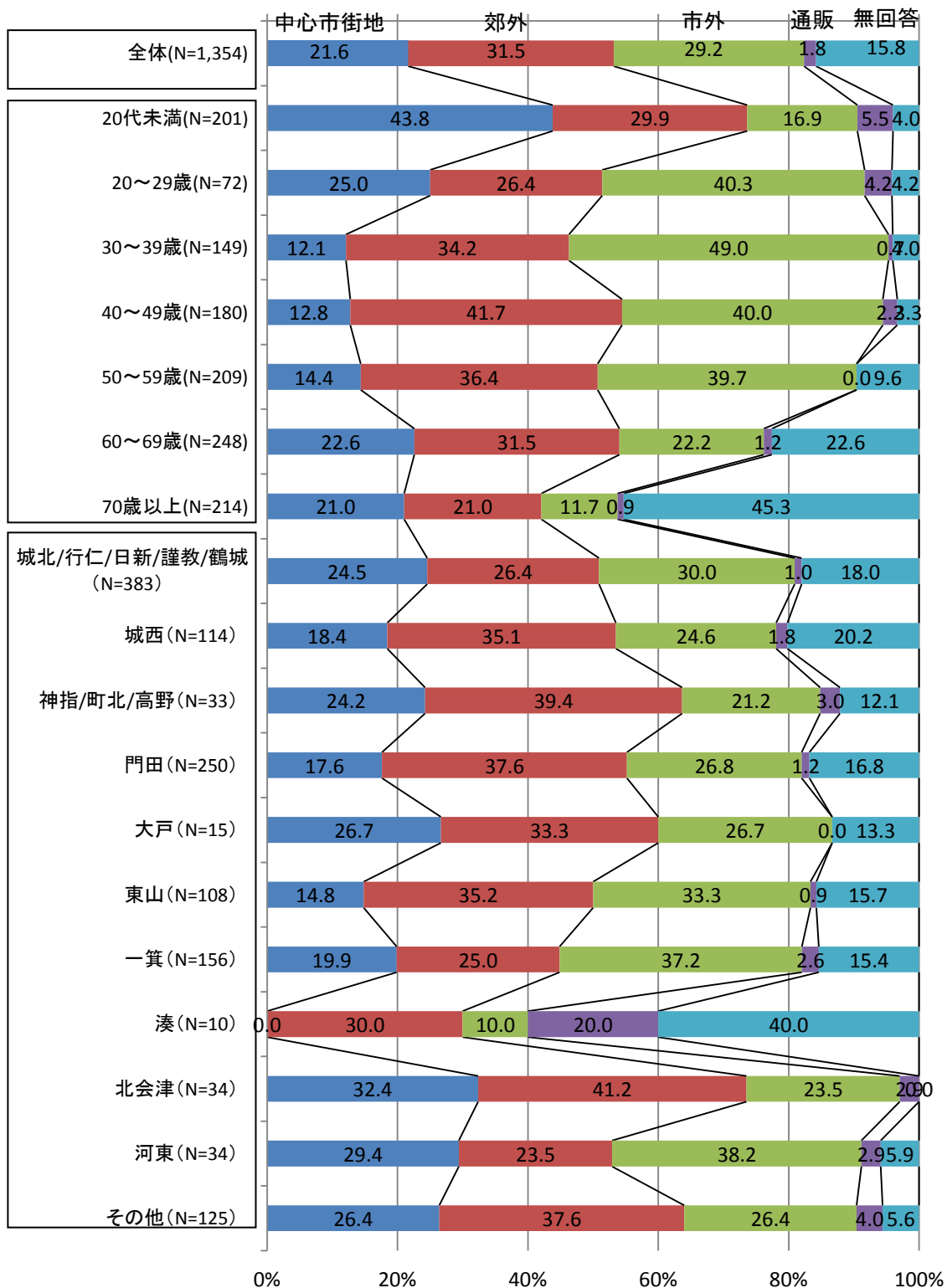
『衣類品の買い物の行動エリア』を年代別で見ると、40歳代で「中心市街地」(8.9%)が最も低くっており、「郊外」(55.0%)だけでなく、「市外」(20.0%)や「通販」(15.6%)よりも低い。

<食品の買い物>

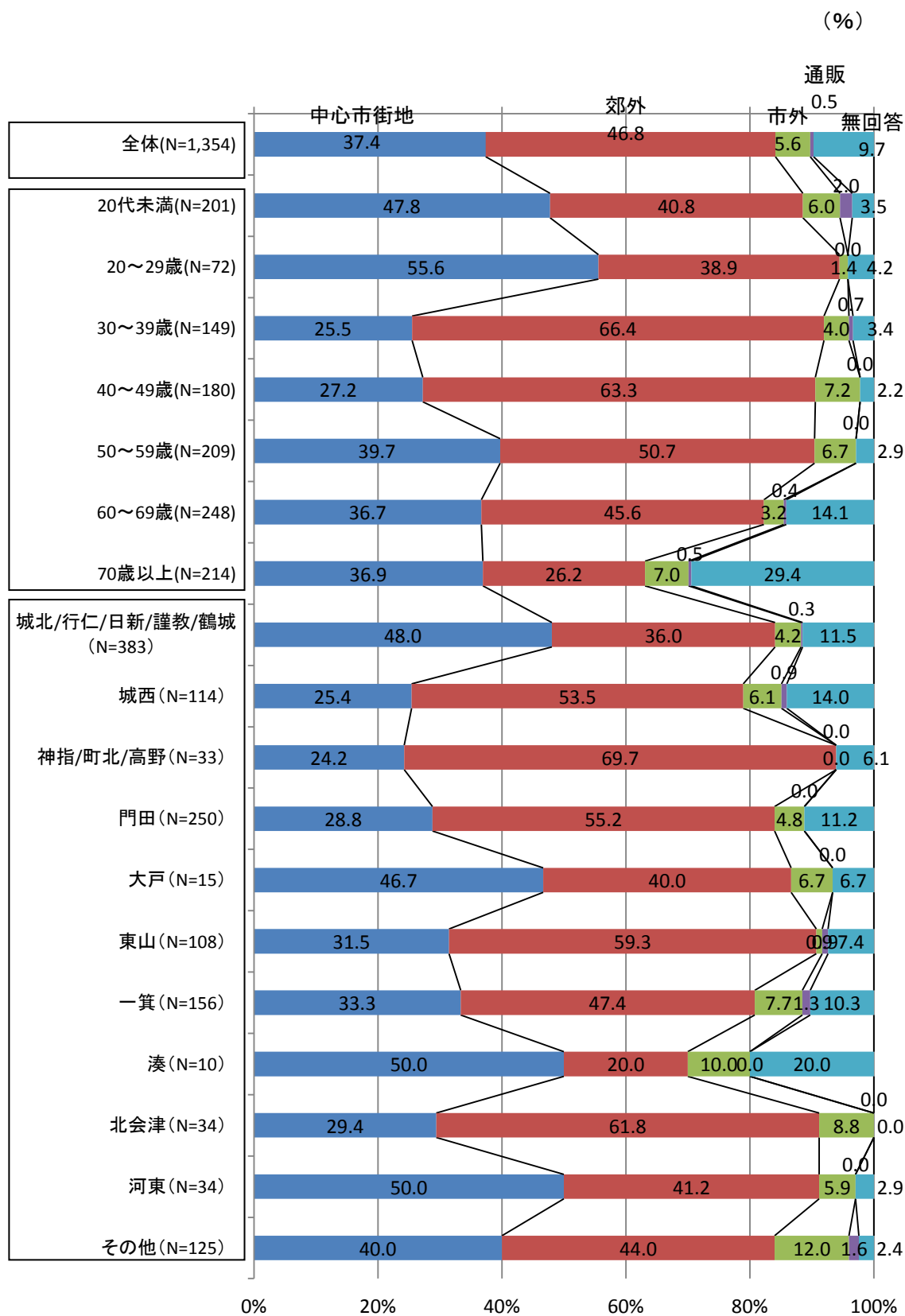
『食品の買い物の行動エリア』を年代別で見ると、10～20歳代では「中心市街地」の割合が最も高く、30歳以上では「郊外」の割合が最も高くなっている。

① 娯楽(問9×年代、問9×居住地)

(%)

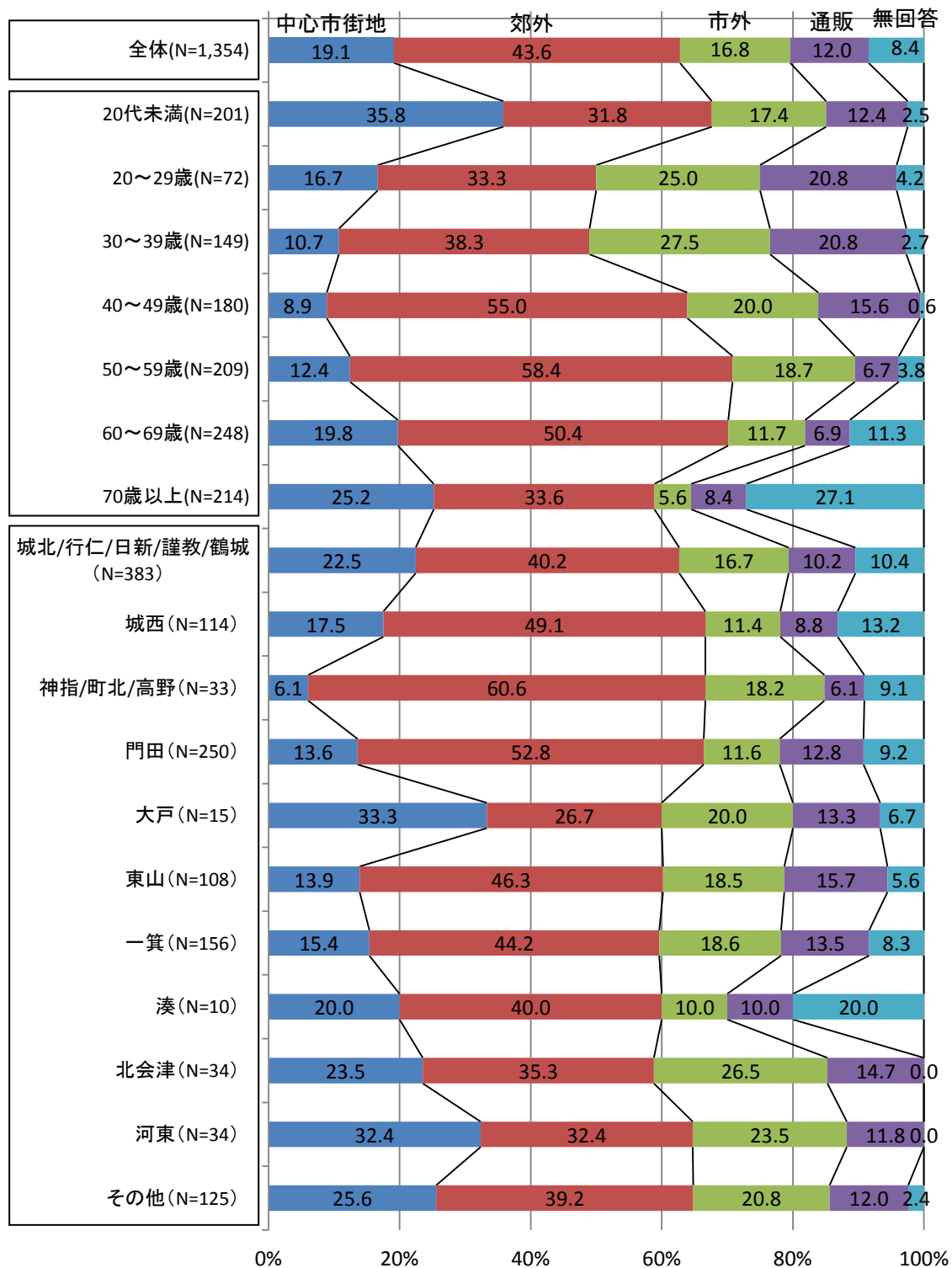


②食事(問9×年代、問9×居住地)

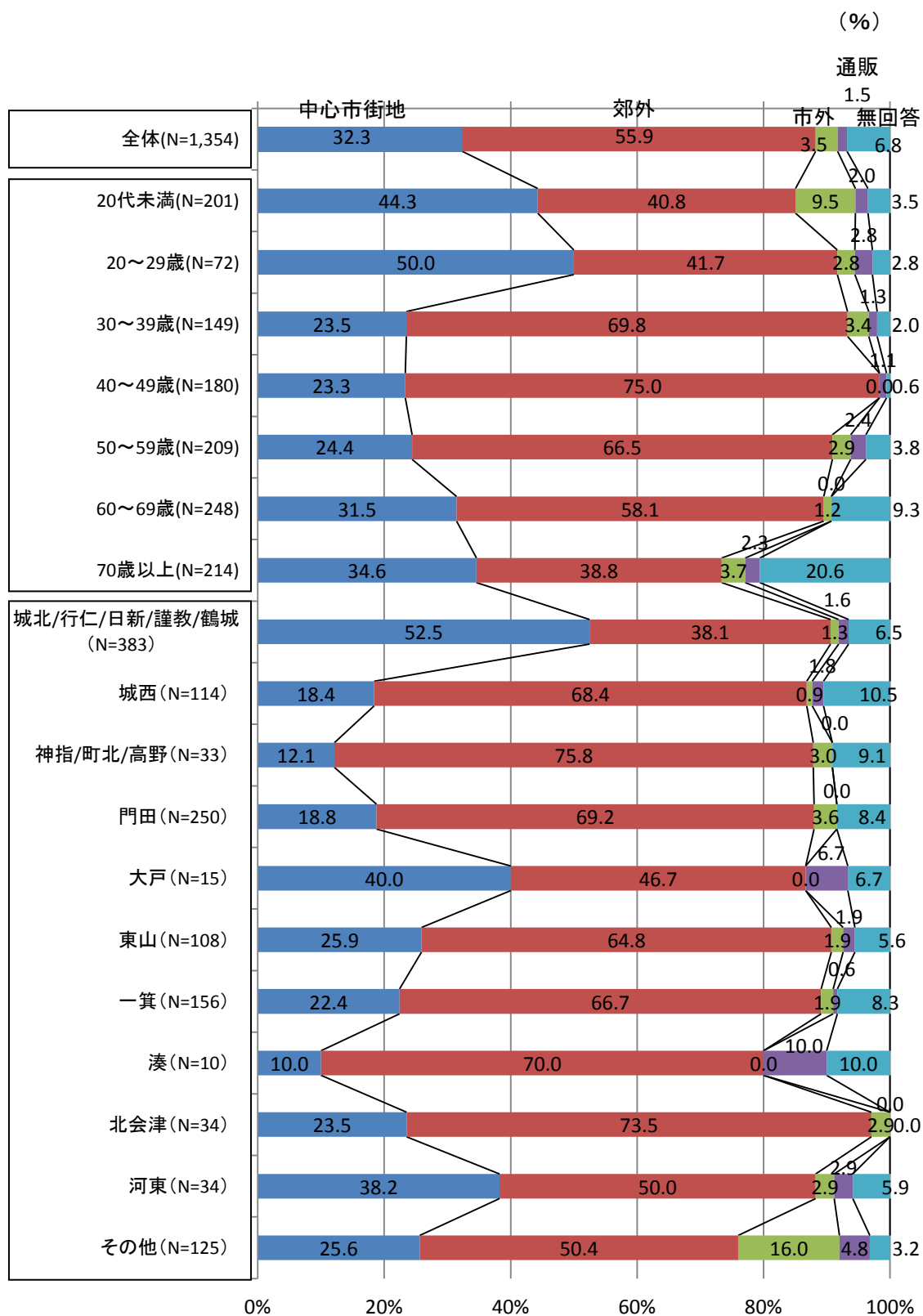


③衣料品の買い物（問9×年代、問9×居住地）

(%)



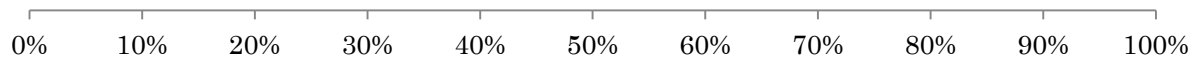
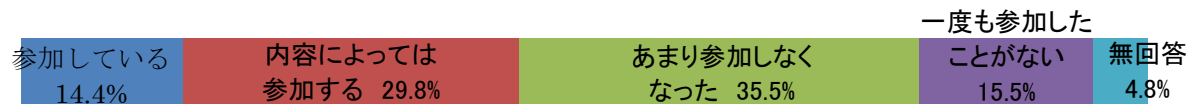
④食品の買い物(問9×年代、問9×居住地)



(5) 中心市街地で行うイベントへの参加状況

問 10 中心市街地には会津磐梯山踊りや十日市に代表される様々な行事・イベントがありますが、参加されたことはありますか。

(n=1,354)



【全体】

『イベントへの参加状況』を全体で見ると、「あまり参加しなかった」が35.5%、「一度も参加したことがない」が15.5%と、過半数の方が“概ね参加に消極的”としている。

【年代別】

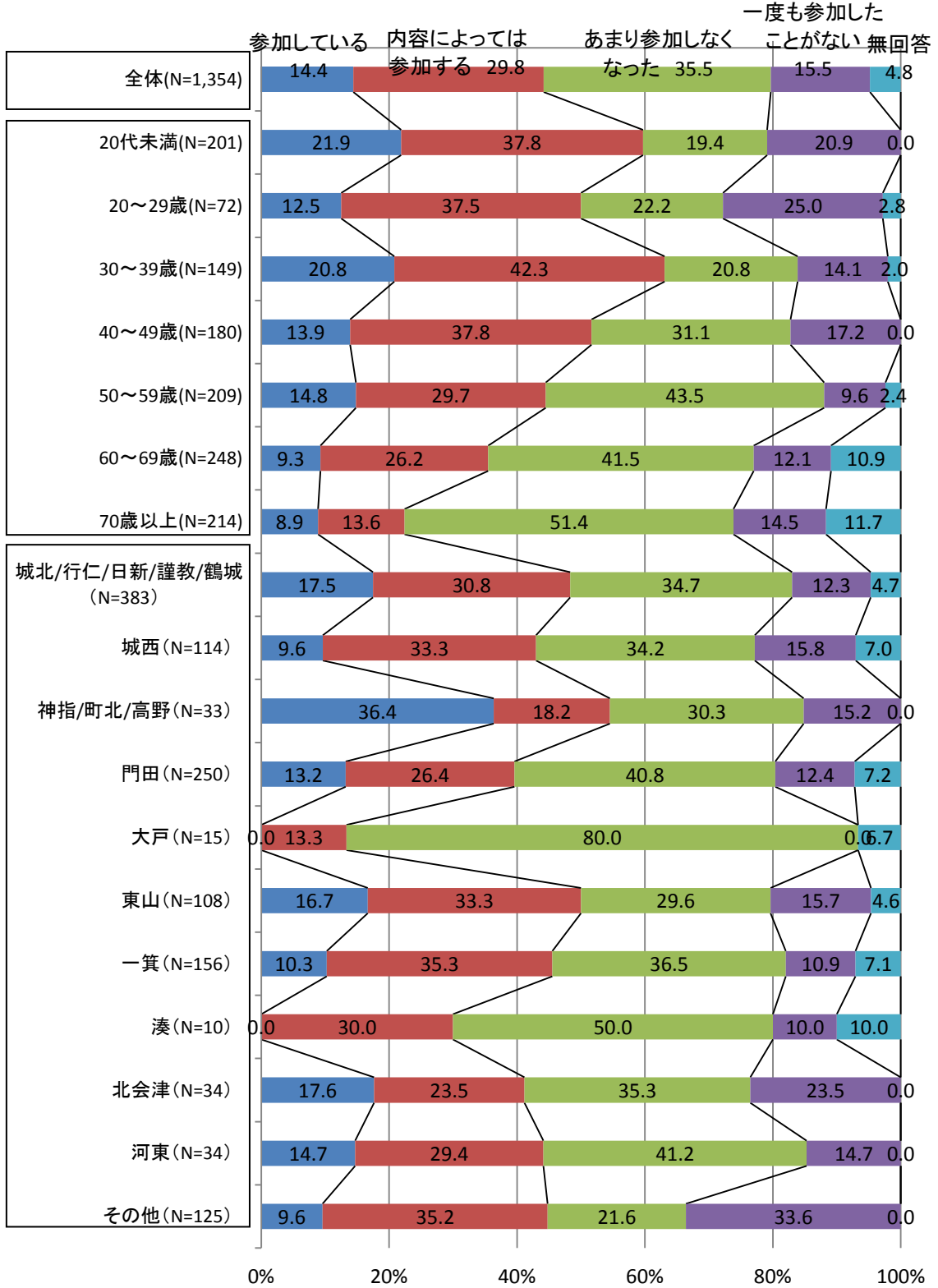
『イベントへの参加状況』を年代別で見ると、30歳代で「参加している」(20.8%)と「内容によっては参加する」(42.3%)を合わせた“概ね積極的に参加する”(63.1%)が最も高くなっており、それより年齢が上がるにつれて、“概ね参加に消極的”の割合が増加していく傾向にある。

【居住地別】

『イベントへの参加状況』を居住地別で見ると、大戸エリアで“概ね積極的に参加する”(13.3%)が他のエリアに比べて低くなっている。

(問10×年代、問10×居住地)

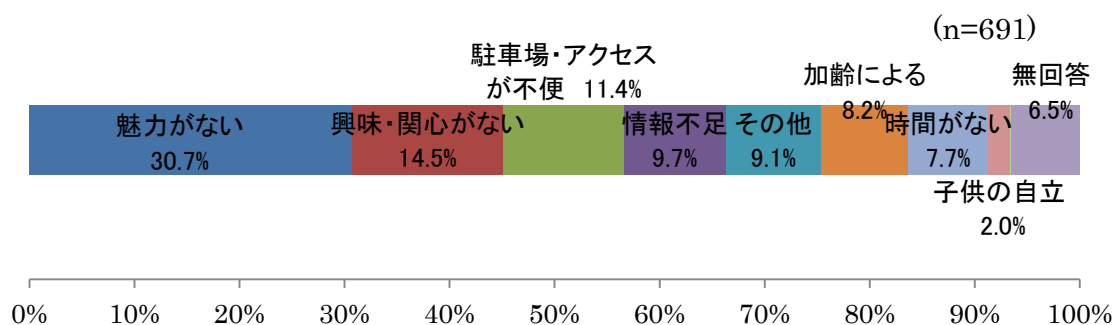
%



(6) 中心市街地のイベントへ参加しない理由

問 11 参加しない理由はなんですか。（問 10 で参加しないとした方へ質問。）
※自由記述を大きく分類してまとめています。

意見を取りまとめたところ、以下のようになった。意見の件数は複数回答の取り扱いとしている。



【全体】

『イベントに参加しない理由』を全体で見ると、「魅力がない」が30.7%で最も多くなっている。内容としては、マンネリ化を指摘する声が多く、他には市民参加が置き去りにされているとの意見が続いた。

【年代別】

『イベントに参加しない理由』を年代別で見ると、20歳未満では「勉強などで時間がない」(25.9%)の割合が他の年代に比べて高くなっている。また、70歳以上では「加齢による身体的理由」(27.0%)の割合が高くなっている。

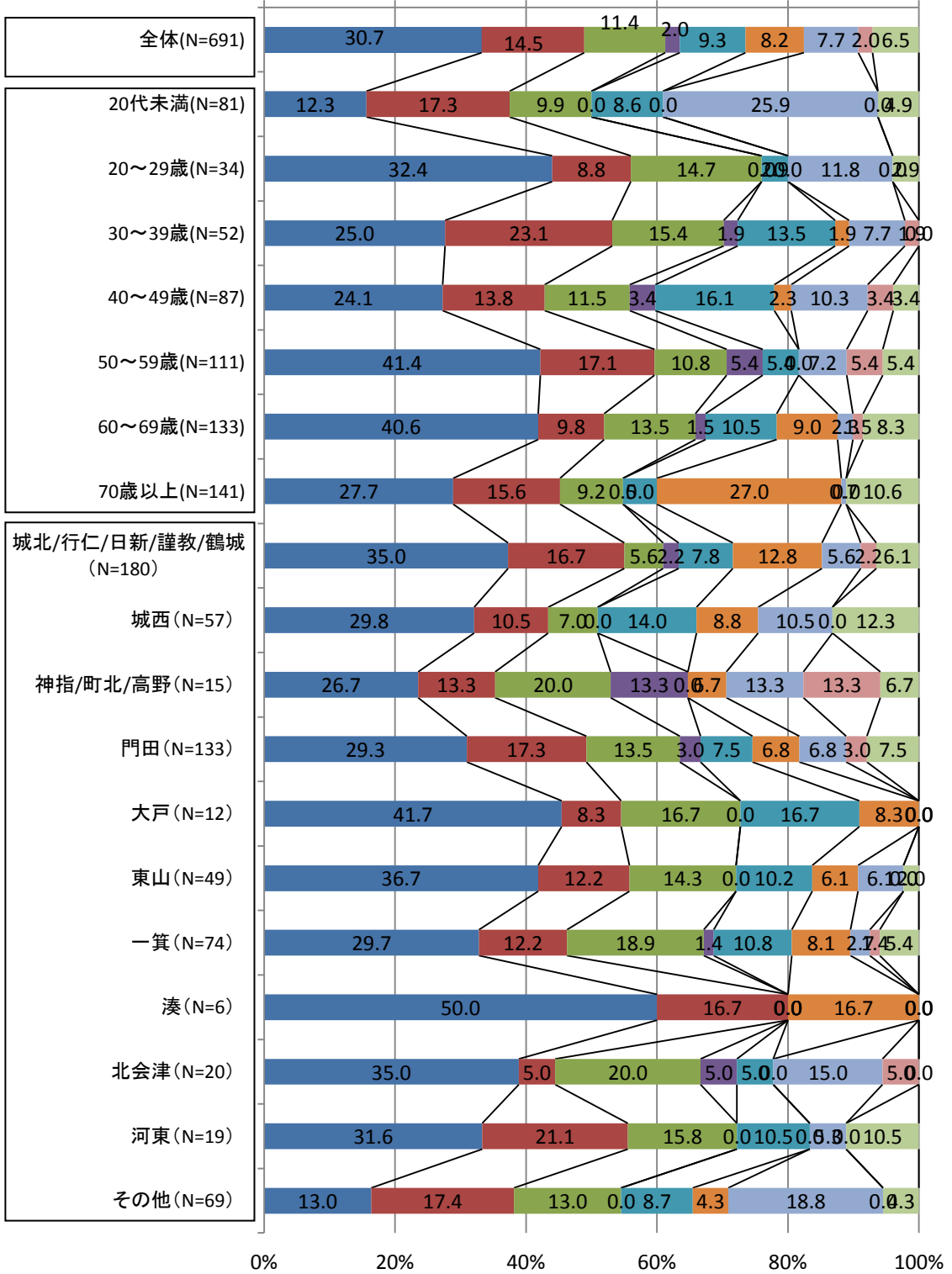
【居住地別】

『イベントに参加しない理由』を居住地別で見ると、特に大きな差は見られない。

(問11×年代、問11×居住地)

(%)

- 魅力がない
- 興味・関心がない
- 駐車場・アクセスの問題
- 情報不足
- その他
- 加齢による
- 時間がない
- 子供の自立
- 無回答



(7) 求めるイベント

問 12 どんなイベントがあったら参加したいですか。 ※自由記述式

意見を取りまとめたところ、以下のようになった。意見の件数は複数回答の取り扱いとしている。

◆大分類

分類項目	件数
具体案	744
コンセプト	205
その他	97
総意見数	1046

◆小分類(具体案をさらに細分化)

	分類項目	件数
みる	花火大会	307
	音楽系イベント	87
	芸人、芸能人のパフォーマンス	52
	会津の歴史に関するもの	29
	映画に関するもの	12
	講演会	10
	ふくしまフェスティバルin会津	8
	パレード	6
	お笑い系イベント	5
	コスプレ・オタク系イベント	4
	その他	8
食	グルメ系イベント	30
	ビアガーデン	6
うごく	盆踊り	41
	スポーツ系イベント	28
	ものづくり系イベント	7
	スタンプラリー	5
	ダンス	4
	その他	12
買う	フリーマーケット	40
	会津の物産市	8
	朝市	6
学ぶ	教養アップセミナー	6
	会津歴史勉強会	5
	その他	2
その他	時節のイベント	6
	ミスコンテスト	5
	まちコン	3
	その他	2

【具体案】

『求めるイベント』は、「花火大会」が307件で最も多く、会津中心部で大規模な花火大会がない点を指摘する声が多い。他には、「音楽系のイベント」が87件、「芸人・芸能人のパフォーマンス」が52件と続いている。

(8) 中心市街地の現状、及びあるべき姿

問 13 あなたにとって中心市街地とは、どんなイメージですか。本来、どのようにあるべきだと思いますか。 ※自由記述式

意見を取りまとめたところ、以下のようになった。意見の件数は複数回答の取り扱いとしている。

◆現状の印象		件数
-	暗い・廃れている・さびしい雰囲気	82
	店舗に魅力がない(質、価格)	29
	駐車場、アクセスが不便	28
	シャッター街になっている	25
	歩行者が少ない	11
	古い・汚い	9
	老人と高校生の街	4
	時代にあっていない	3
	商店街にやる気を感じない	3
	単なる通過点になっている	3
	その他	24
+	人情味のある経営者が多い	3
	イベントが多くあってよい	2
	その他	2

◆求める将来像		件数
便利	魅力的なお店の充実	344
	駐車場・アクセスの利便性	65
	全ての用事が一度に済ませられる	49
	ショッピングが楽しめる	37
	娯楽・レジャー施設の充実	26
	美味しいお食事処	18
	安くて豊富な品ぞろえのお店	6
	雨でも楽しめる所	5
	人と自然の共存	10
緑	公園の充実	6
	活気がある	187
交流	歩行者がたくさんいる	159
	コミュニティスペースの充実	46
	全世代が楽しめる	42
	イベントの充実	15
	休憩スペースの充実	13
景観	会津の風情を感じさせる	22
	きれい・清潔	8
	整ったまちなみ	8

		件数
個性	会津の顔としての主張・文化の発信	19
	オシャレ・都会的	18
	文化・芸術性	12
	目的なくとも行きたくなる場所	10
	1日でも過ごすことが出来る	6
暮らし	豊かな時間を過ごせる	6
	落ち着いた雰囲気	3
	温かみ	3
高齢者住宅の充実		2
安全	歩いて楽しめる	30
	車からの安全	9
	明るく治安が良い	6
	子供の安全	3
他	若者が生き生きしている	23
	観光客が楽しめる	12
	その他	16

【現状の印象】

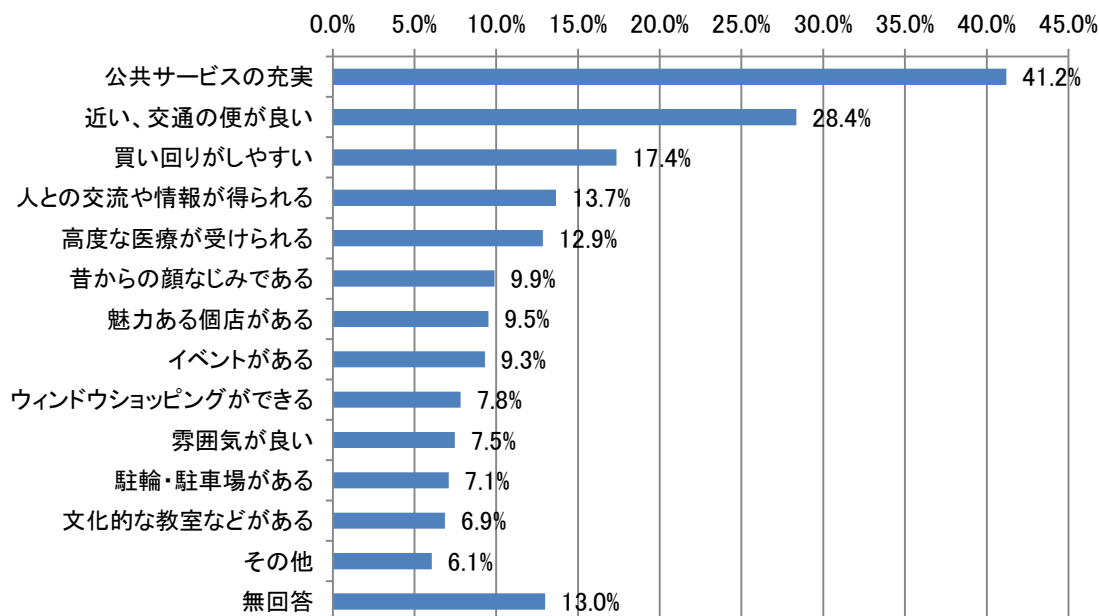
『中心市街地の現状』については、「暗い・廃れている・さびしい雰囲気」が82件と最も多く、回答のほとんどがネガティブな印象となっていた。

【あるべき姿】

『中心市街地に求める将来像』については、「魅力的なお店の充実」が344件で最も多く、便利な都市を求める意見が多くなっている。

(9) 中心市街地の利便性

問 14 中心市街地の良いところ、便利なところはどこですか。(該当する番号に3つまで○印を付けて下さい)



【全体】

『中心市街地の利便性』を全体で見ると、「公共サービスの充実」が41.2%と最も多く、金融機関や市役所、図書館などの集積が評価されている。一方で、「その他」6.1%、「無回答」13.0%には、中心市街地に利便性がないとの意見が多く見られた。

【年代別】

『中心市街地の利便性』を年代別で見ると、20歳未満では「近い・交通の便が良い」(29.9%)が最も多くなっている。

【居住地別】

『中心市街地の利便性』を居住地別で見ると、特に大きな差は見られない。

(問14×年代、問14×居住地)

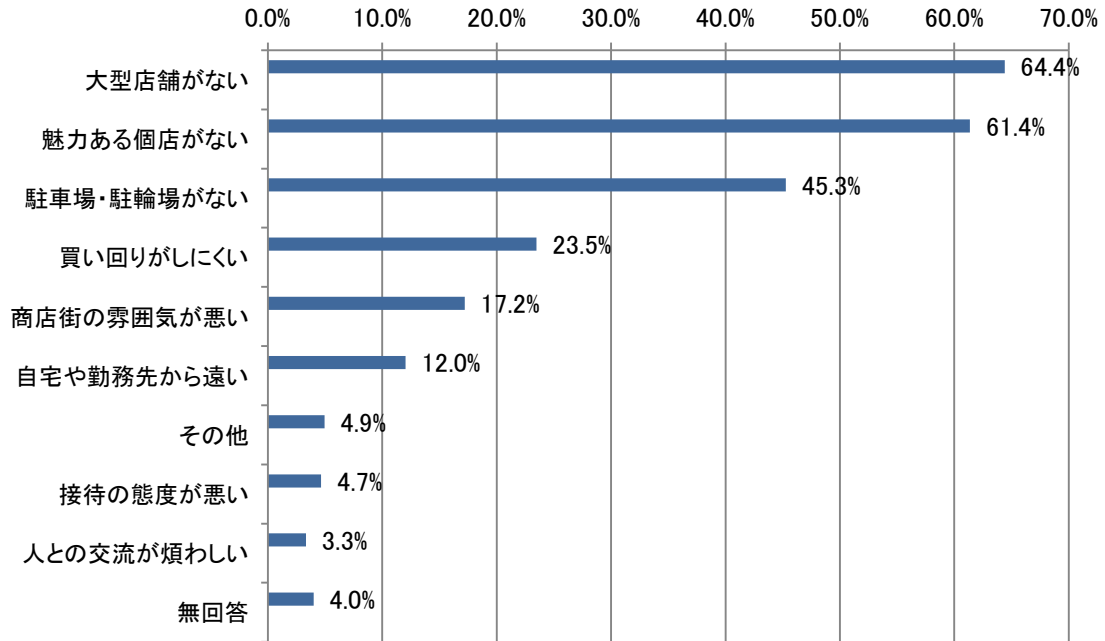
(%)

	公共サービスの充実	近い・交通の便が良い	買い回りがしやすい	人との交流や情報が得られる	高度な医療が受けられる	昔からの顔なじみである	魅力ある個店がある	イベントがある	ウインドウショッピングができる	雰囲気が良い
全体(N=1,354)	41.2	28.4	17.4	13.7	12.9	9.9	9.5	9.3	7.8	7.5
20代未満(N=201)	14.4	29.9	27.9	10.4	3.0	10.9	15.9	18.9	5.0	9.5
20～29歳(N=72)	41.7	38.9	16.7	15.3	6.9	5.6	12.5	15.3	1.4	12.5
30～39歳(N=149)	37.6	32.2	8.7	9.4	7.4	6.7	10.1	12.8	5.4	5.4
40～49歳(N=180)	56.1	25.0	11.1	10.0	8.3	6.1	10.0	7.2	7.2	5.0
50～59歳(N=209)	48.3	31.1	14.8	12.4	13.9	8.1	6.2	6.7	9.1	8.6
60～69歳(N=248)	48.0	25.8	20.2	17.3	13.7	9.7	8.1	9.7	9.3	5.2
70歳以上(N=214)	46.7	26.2	18.7	19.2	29.9	17.8	6.5	1.4	9.8	9.8
城北/行仁/日新/謹教/鶴城(N=383)	45.2	47.5	17.2	14.9	14.9	14.1	7.3	8.9	5.7	8.9
城西(N=114)	47.4	18.4	10.5	14.9	11.4	11.4	8.8	7.0	4.4	5.3
神指/町北/高野(N=33)	39.4	39.4	15.2	6.1	15.2	6.1	18.2	3.0	15.2	6.1
門田(N=250)	42.4	20.8	15.2	12.0	12.0	6.8	8.4	11.6	9.2	5.6
大戸(N=15)	46.7	20.0	33.3	6.7	33.3	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7
東山(N=108)	43.5	25.0	13.9	11.1	20.4	12.0	8.3	9.3	8.3	3.7
一箕(N=156)	37.8	18.6	19.2	12.2	9.6	9.6	5.8	9.0	10.9	7.7
湊(N=10)	60.0	10.0	10.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0
北会津(N=34)	41.2	17.6	20.6	14.7	5.9	5.9	23.5	17.6	2.9	11.8
河東(N=34)	47.1	23.5	14.7	14.7	14.7	5.9	5.9	5.9	5.9	8.8
その他(N=125)	31.2	16.8	28.0	18.4	6.4	4.0	20.0	12.8	7.2	9.6

	駐輪・駐車場がある	文化的な教室などがある	その他	無回答
全体(N=1,354)	7.1	6.9	6.1	13.0
20代未満(N=201)	9.5	1.0	6.5	6.5
20～29歳(N=72)	1.4	4.2	4.2	11.1
30～39歳(N=149)	5.4	3.4	6.7	13.4
40～49歳(N=180)	3.9	4.4	10.0	9.4
50～59歳(N=209)	4.8	12.0	5.7	15.8
60～69歳(N=248)	7.3	10.5	4.4	16.9
70歳以上(N=214)	12.6	9.3	5.1	11.7
城北/行仁/日新/謹教/鶴城(N=383)	9.1	6.3	3.4	8.1
城西(N=114)	5.3	7.9	7.9	15.8
神指/町北/高野(N=33)	9.1	6.1	3.0	12.1
門田(N=250)	7.2	8.8	8.0	15.6
大戸(N=15)	0.0	0.0	20.0	6.7
東山(N=108)	8.3	10.2	5.6	11.1
一箕(N=156)	5.1	5.8	8.3	18.6
湊(N=10)	0.0	10.0	0.0	10.0
北会津(N=34)	2.9	8.8	11.8	5.9
河東(N=34)	2.9	8.8	2.9	20.6
その他(N=125)	7.2	3.2	6.4	10.4

(10) 中心市街地の問題点

問 15 中心市街地の悪いところ、不便なところはどこですか。(該当する番号に3つまで○印を付けて下さい)



【全体】

『中心市街地の問題点』を全体で見ると、「大型店がない」が64.4%で最も多く、続いて「魅力ある個店がない」(61.4%)、「駐車場・駐輪場がない」(45.3%)、「買い回りがしにくい」(23.5%)となっている。中心市街地の機能として、商業機能にたいする問題点を指摘されている。

【年代別】

『中心市街地の問題点』を年代別で見ると、30～50歳代では「魅力ある個店がない」が最も多くなっており、他の年代では「大型店がない」が最も多くなっている(40歳代は「大型店舗がない」が同じ割合)。

【居住地別】

『中心市街地の問題点』を居住地別で見ると、特に大きな差は見られない。

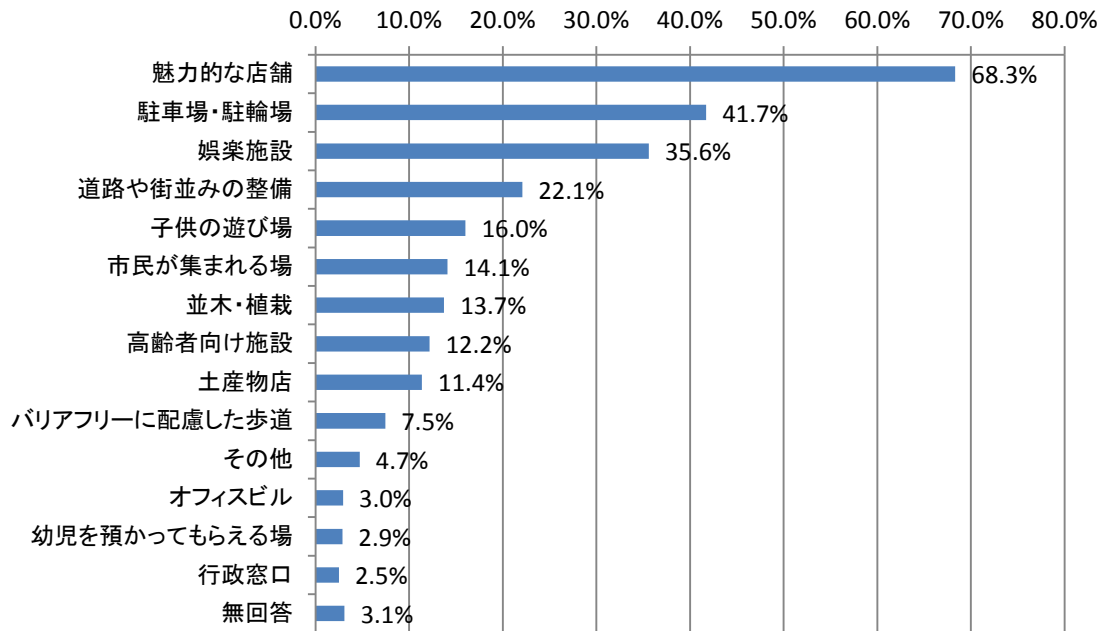
(問15×年代、問15×居住地)

(%)

	大型店舗がない	魅力ある個店がない	駐車場・駐輪場がない	買い回りがしにくい	商店街の雰囲気が悪い	自宅や勤務先から遠い	その他	接待の態度が悪い	人との交流が煩わしい	無回答
全体(N=1,354)	64.4	61.4	45.3	23.5	17.2	12.0	4.9	4.7	3.3	4.0
20代未満(N=201)	59.2	47.3	24.9	15.9	19.4	17.4	4.5	3.5	7.0	5.0
20～29歳(N=72)	56.9	52.8	51.4	29.2	26.4	6.9	5.6	2.8	5.6	1.4
30～39歳(N=149)	58.4	64.4	51.0	28.9	18.8	6.7	6.7	4.7	4.7	1.3
40～49歳(N=180)	65.0	65.0	55.0	30.0	11.1	8.9	5.0	3.9	1.7	0.6
50～59歳(N=209)	69.4	70.3	48.8	18.7	17.2	11.5	3.3	5.7	2.9	1.0
60～69歳(N=248)	74.2	66.9	47.6	25.4	16.5	12.1	5.2	2.8	1.6	3.6
70歳以上(N=214)	62.6	61.2	46.3	24.3	15.9	16.4	6.5	8.4	2.3	7.0
城北/行仁/日新/謹教/鶴城(N=383)	69.2	68.1	42.3	29.0	18.8	5.5	5.2	5.2	2.3	2.3
城西(N=114)	64.9	67.5	47.4	24.6	8.8	14.0	5.3	3.5	2.6	4.4
神指/町北/高野(N=33)	69.7	60.6	51.5	15.2	18.2	18.2	3.0	0.0	6.1	3.0
門田(N=250)	68.0	60.0	52.4	18.4	17.6	12.8	5.2	5.2	5.2	3.2
大戸(N=15)	46.7	80.0	26.7	13.3	26.7	26.7	6.7	6.7	6.7	0.0
東山(N=108)	66.7	72.2	40.7	25.0	16.7	12.0	3.7	5.6	1.9	2.8
一箕(N=156)	63.5	63.5	47.4	25.0	19.9	12.8	5.1	3.8	1.9	3.8
湊(N=10)	60.0	60.0	50.0	60.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0
北会津(N=34)	64.7	50.0	55.9	14.7	23.5	14.7	5.9	5.9	2.9	2.9
河東(N=34)	61.8	52.9	52.9	29.4	11.8	11.8	0.0	8.8	8.8	5.9
その他(N=125)	49.6	37.6	41.6	19.2	13.6	25.6	8.0	3.2	4.8	2.4

(11) 中心市街地に求める機能

問 16 あなたは、今の中心市街地に何が必要だと思いますか。また、何があったら利用しますか。(該当する番号に3つまで○印を付けて下さい)



【全体】

『中心市街地に必要なもの』を全体で見ると、「魅力的な店舗」が68.3%となっており、商業機能の充実を求める回答が最も多くなっている。次いで、「駐車場・駐輪場」が41.7%となっており、特に無料の駐車場の不足を指摘する回答が多くあった。

【年代別】

『中心市街地に必要なもの』を年代別で見ると、全ての世代において「魅力的な店舗」が最も多くなっている。

【居住地別】

『中心市街地に必要なもの』を居住地別で見ると、湊エリアのみ「駐車場・駐輪場」(80%)が最も多くなっている。

(問16×年代、問16×居住地)

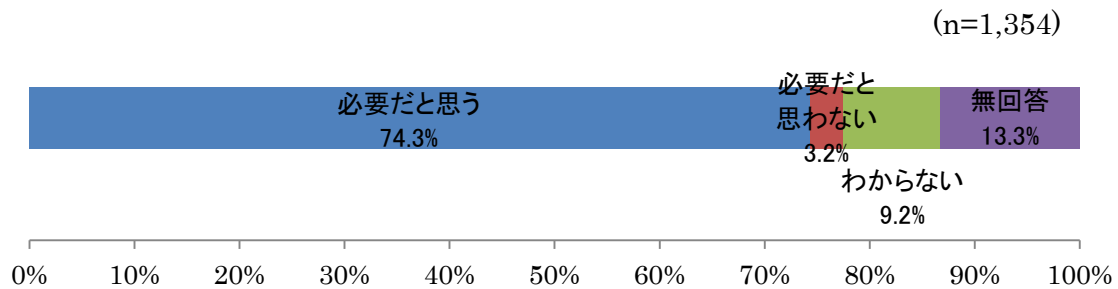
(%)

	魅力的な店舗	駐車場・駐輪場	娯楽施設	道路や街並みの整備	子供の遊び場	市民が集まれる場	並木・植栽	高齢者向け施設	土産物店	バリアフリーに配慮した歩道
全体(N=1,354)	68.3	41.7	35.6	22.1	16.0	14.1	13.7	12.2	11.4	7.5
20代未満(N=201)	70.6	20.4	63.2	21.9	9.0	10.0	20.4	5.0	3.0	9.5
20～29歳(N=72)	66.7	40.3	52.8	23.6	20.8	11.1	6.9	2.8	8.3	6.9
30～39歳(N=149)	70.5	43.0	45.6	21.5	38.9	12.8	10.7	0.0	8.7	4.7
40～49歳(N=180)	79.4	50.6	41.1	25.6	17.2	11.1	12.8	3.3	7.8	2.8
50～59歳(N=209)	71.3	51.2	30.1	24.4	14.4	15.8	12.9	7.7	7.2	5.7
60～69歳(N=248)	66.5	45.2	25.4	20.2	14.1	21.0	14.5	19.0	16.5	7.7
70歳以上(N=214)	59.3	43.5	11.2	19.2	8.4	14.0	14.5	34.6	22.9	12.1
城北/行仁/日新/謹教/鶴城(N=383)	70.8	36.8	35.2	24.8	14.9	16.4	15.1	14.4	12.0	8.1
城西(N=114)	67.5	39.5	30.7	19.3	15.8	21.1	11.4	14.9	14.0	8.8
神指/町北/高野(N=33)	72.7	54.5	33.3	27.3	12.1	6.1	21.2	15.2	9.1	9.1
門田(N=250)	71.2	47.2	37.6	21.6	18.8	11.2	13.6	11.2	10.4	5.6
大戸(N=15)	80.0	46.7	20.0	46.7	20.0	6.7	13.3	6.7	0.0	0.0
東山(N=108)	69.4	50.9	28.7	19.4	20.4	18.5	9.3	11.1	12.0	6.5
一箕(N=156)	70.5	40.4	39.1	18.6	16.0	12.8	13.5	14.1	12.2	5.8
湊(N=10)	60.0	80.0	10.0	20.0	10.0	20.0	20.0	10.0	30.0	10.0
北会津(N=34)	70.6	50.0	50.0	20.6	14.7	8.8	17.6	0.0	11.8	2.9
河東(N=34)	73.5	38.2	32.4	17.6	23.5	23.5	14.7	8.8	0.0	5.9
その他(N=125)	59.2	42.4	43.2	23.2	9.6	7.2	16.0	6.4	9.6	9.6

	その他	オフィスビル	幼児を預かってもらえる場	行政窓口	無回答
全体(N=1,354)	4.7	3.0	2.9	2.5	3.1
20代未満(N=201)	5.0	3.5	1.0	0.0	1.5
20～29歳(N=72)	4.2	5.6	6.9	2.8	1.4
30～39歳(N=149)	5.4	6.7	5.4	1.3	0.7
40～49歳(N=180)	2.8	2.2	4.4	0.6	0.6
50～59歳(N=209)	6.2	3.8	2.4	3.8	1.4
60～69歳(N=248)	4.4	0.8	2.0	3.2	2.4
70歳以上(N=214)	3.3	1.4	1.4	5.1	6.5
城北/行仁/日新/謹教/鶴城(N=383)	3.9	2.6	1.6	3.9	1.8
城西(N=114)	2.6	0.0	3.5	3.5	4.4
神指/町北/高野(N=33)	6.1	3.0	0.0	3.0	0.0
門田(N=250)	3.6	2.0	3.2	1.6	2.4
大戸(N=15)	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0
東山(N=108)	6.5	5.6	2.8	1.9	2.8
一箕(N=156)	6.4	3.2	4.5	1.9	1.9
湊(N=10)	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北会津(N=34)	0.0	5.9	2.9	0.0	0.0
河東(N=34)	2.9	5.9	2.9	0.0	2.9
その他(N=125)	5.6	4.8	4.0	2.4	1.6

(12) 中心市街地の活性化の必要性

問 18 中心市街地の活性化は必要だと思いますか。



【全体】

『中心市街地の活性化の必要性』を全体で見ると、74.3%の方が「必要だと思う」と回答している。「活性化が必要だ」を選ばなかった方からは、郊外の方の利便性が良い、中心市街地だけでない市全体の活性化が重要、郊外化は仕方ない、これまでの固定概念にとられない発想が必要だ、などとした意見があげられた。

【年代別】

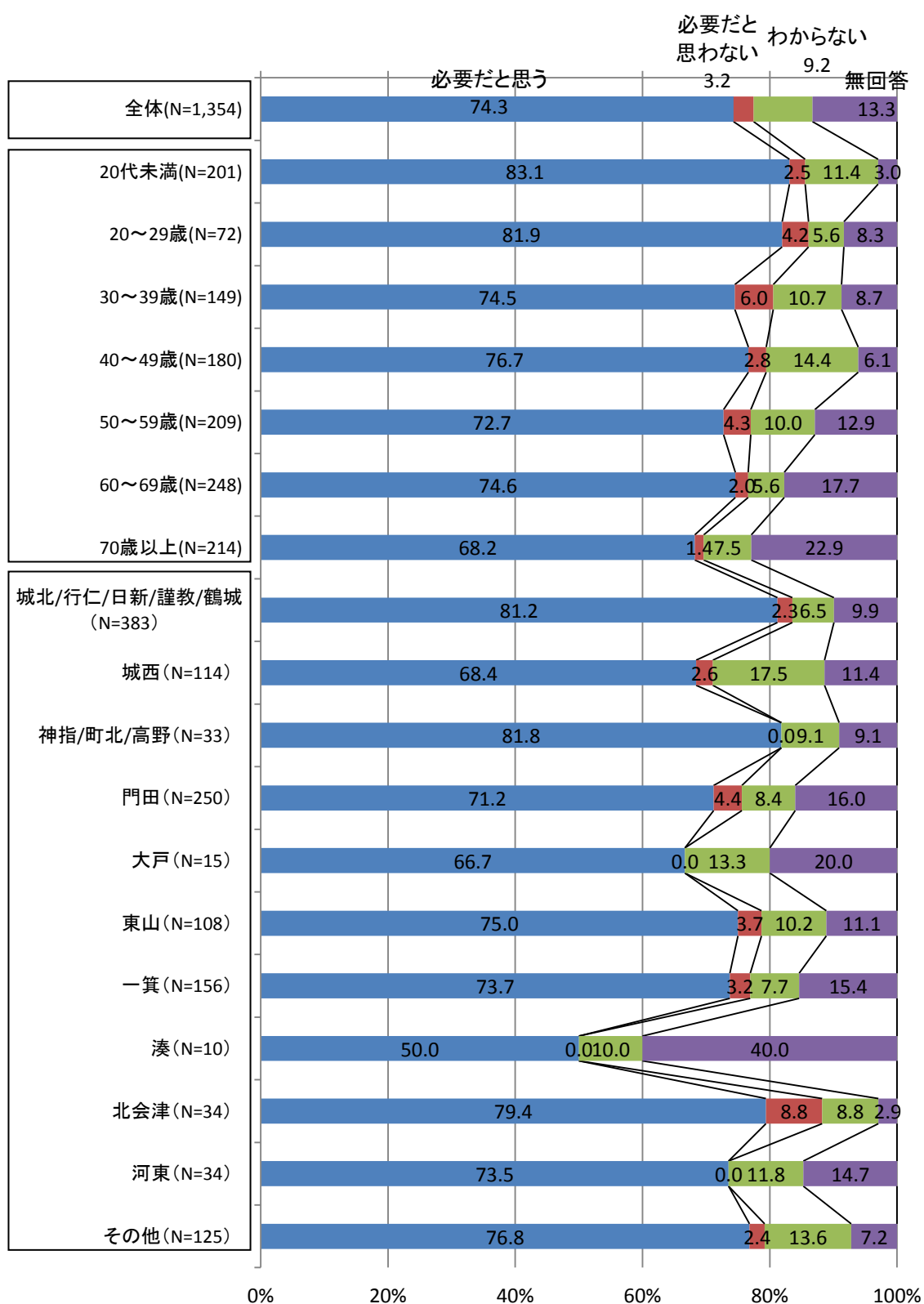
『中心市街地の活性化の必要性』を年代別で見ると、10～20歳代では「必要だと思う」が8割以上、30～60歳代では「必要だと思う」が7割以上、70歳以上では「必要だと思う」が6割以上となっており、年齢が上がるほど中心市街地の活性化を必要とする意見は低下する傾向にある。

【居住地別】

『中心市街地の活性化の必要性』を居住地別で見ると、湊エリアで「必要だと思う」が50.0%とやや低くなっているが、その他のエリアでは6割以上の方が「必要だと思う」としている。

(問18×年代、問18×居住地)

(%)



III. 參考資料

会津若松市

中心市街地活性化に関するアンケート

このアンケートは、ご回答いただいた皆さまの貴重なご意見・ご提言を参考にし、賑わいのある中心市街地の活性化を進めるために実施するものです。

アンケート項目が多く、お手数をおかけしますが、より良い会津若松市のまちづくりのためにご協力くださいますようお願い申し上げます。

会津若松市商工課
株式会社まちづくり会津

- ◆アンケートは市内在住者および市内に通勤・通学されている方を対象に市全域に渡り、無作為に抽出し、配布させて頂いております。
- ◆このアンケートは、多種多様な意見を自由に回答して頂けるよう無記名で行っております。
- ◆アンケートの結果は、市の基本計画の策定などに積極的に使用させていただきます。

《注意事項》

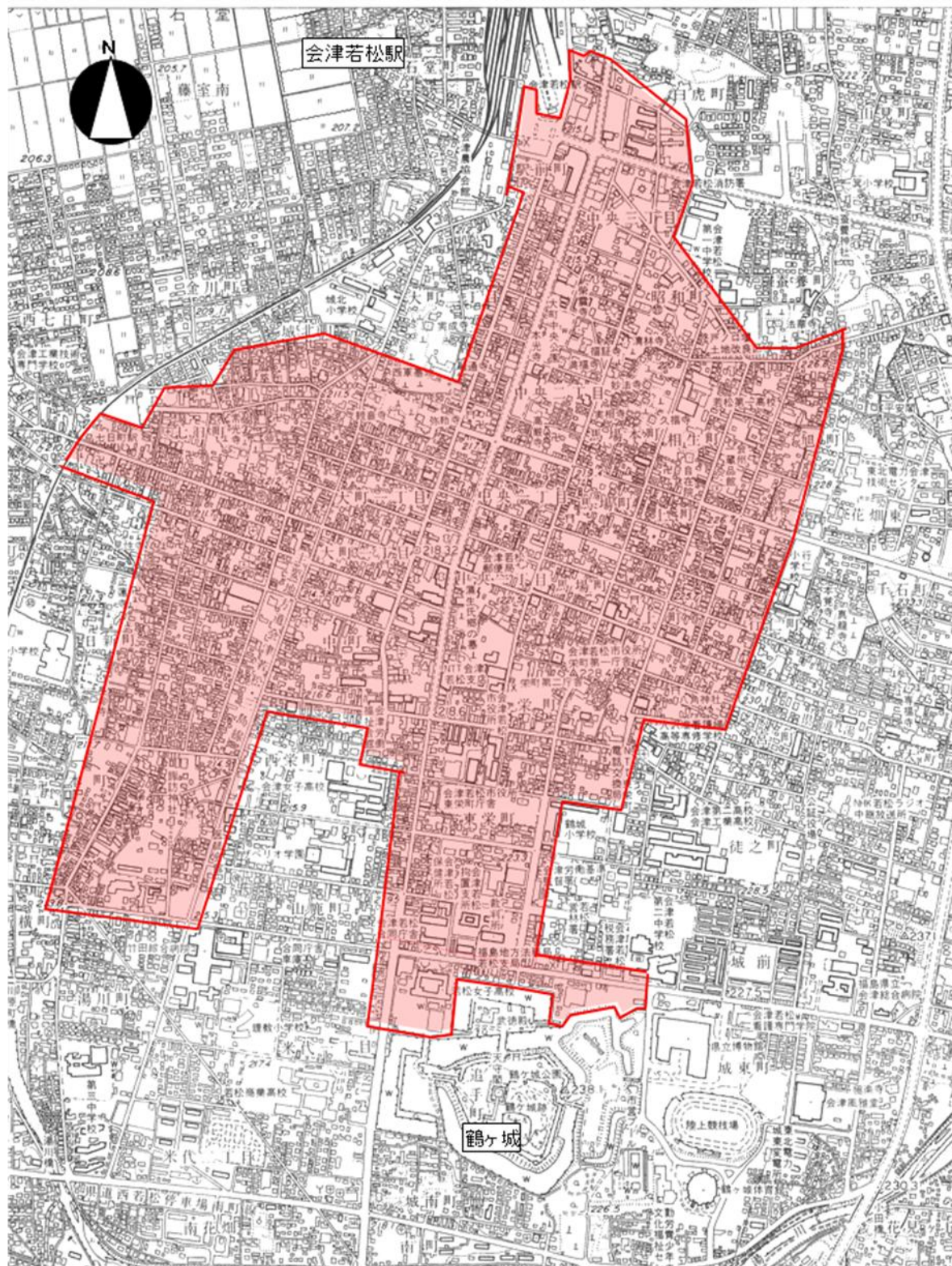
1. ご記入にあたって
 - ・ご回答は、できるだけご本人が最後までご記入ください。
 - ・アンケートは無記名で構いません。
2. 回答方法
 - ・設問は、選択式と記述式になっております。
 - ・選択式設問は、指定がない限り該当する番号に○印をつけてください。
 - ・記述式設問は、ご自身の考えをご自由に記入してください。
3. 回収方法
 - ご記入後、添付してある返信用封筒に入れて返送してください。
 - ※切手は不要です
4. 締め切り

8月15日（水） 必着でお願い致します。

【お問い合わせ・返送先】株式会社まちづくり会津
住 所：会津若松市南千石 6-5
電 話：0242-38-2822 FAX：0242-38-2833

★会津若松市の中心市街地とは・・・

アンケート中に“中心市街地”“郊外”といった表現が度々出てきます。
会津若松市において“中心市街地”とは、主に下図の太線で囲まれた地域を指します。
“郊外”とは、“中心市街地”以外の地域を指します。
これを参考にアンケートにお答えください。



【設 問】

Q 1 現在の会津若松市は、住み良いまちであると思いますか。現在市内にお住いでない方は、住んでいると仮定してお答えください。

1. 住み良い
2. どちらかと言えば住み良い
3. 普通
4. どちらかと言えば住みにくい
5. 住みにくい

Q 2 あなたは、これからも会津若松市に住み続けたいと思いますか。現在市内にお住いでない方は、住んでいると仮定してお答えください。

1. これからも住み続けたい
2. 住み続けたいとは思わない
3. わからない

Q 3 会津若松市の良いところ・自慢できるところはどこですか？

(該当する番号に**3つまで〇印**を付けて下さい)

1. 災害が少ない
2. 歴史と伝統
3. 交通の便がよい
4. 自然が豊か
5. 買い物が便利
6. 人情がある
7. 地域コミュニティが充実している
8. 犯罪が少ない
9. 老後も安心して生活ができる
10. 安心して子育てができる
11. 食べ物が美味しい
12. 教育機関が整っている
13. 働く場が豊富である
14. 文化施設が整い、催しも多い
15. 医療施設や福祉サービスが整っている
16. 道路や下水道などの生活基盤が整っている
17. スポーツ・レクリエーション施設が充実している
18. 娯楽やレジャー施設が整っている
19. 市民参加や情報公開が進んでいる
20. 行政サービスが充実している
21. 観光スポットが多い
22. その他 ()

Q 4 会津若松市の問題点・課題とは何ですか？

(該当する番号に**3つまで〇印**を付けて下さい)

1. 風評被害対策、除染活動などの震災対応
2. 防災体制に不安がある
3. バスや鉄道などの交通の便がよくない
4. 新鮮で安心な食料が入手できない
5. 買い物に不便である
6. 人情味が薄れつつある
7. 地域コミュニティが衰退している
8. 防犯体制に不安がある
9. 老後の生活が不安である
10. 子育てしにくい環境である
11. 歴史や伝統が大切にされていない
12. 教育環境が劣っている
13. 魅力ある仕事・働く場が少ない
14. 文化、芸術の催しや情報が少ない
15. 医療施設や福祉サービスが不十分である
16. 道路や下水道などの生活基盤が不十分である
17. スポーツ・レクリエーション施設が不十分である
18. 娯楽やレジャー施設が少ない
19. 自治会や地域活動に参加しにくい
20. 市民参加や情報公開が遅れている
21. 行政サービスが不十分である
22. その他 ()

Q 5 日常生活で主に中心市街地と郊外のどちらを利用されていますか。

1. 主に中心市街地を利用している
2. どちらかと言うと中心市街地の方が利用頻度が高い
3. 半々くらい
4. どちらかと言うと郊外の方が利用頻度が高い
5. 主に郊外を利用している

Q 6 中心市街地をどのくらいの頻度で利用されますか。

1. 毎日
2. 週に1~2度程度
3. 週に3~4度程度
4. 月に1~2度程度
5. ほとんど利用しない

Q 7 Q 5で「4または5」と回答された方にお聞きします。

中心市街地を利用されない理由はなんですか。

1. 駐車場が少ない
2. 交通手段が不便
3. 自宅や勤務先等から遠い
4. 中心市街地より郊外の方が魅力的なお店が多い
5. その他()

Q 8 中心市街地を利用する目的はなんですか。

(該当する番号に**3つまで○印**を付けて下さい)

1. 通勤・通学
3. 買い物
4. 娯楽
5. 公共サービス(官公庁、金融機関など)
6. 通院
7. 飲食
8. 理容・美容
9. スポーツ・習い事
10. その他()

Q 9 下記のシーンの場合、主にどのエリアを利用されていますか。

1. 食品の買い物 【 中心市街地 ・ 郊外 ・ 市外・ 通販 】
2. 衣料品の買い物 【 中心市街地 ・ 郊外 ・ 市外・ 通販 】
3. 食事 【 中心市街地 ・ 郊外 ・ 市外・ 通販 】
4. 娯楽など 【 中心市街地 ・ 郊外 ・ 市外・ 通販 】

Q 10 中心市街地には会津磐梯山踊りや十日市に代表される様々な行事・イベントがありますが、参加されたことはありますか。

1. 参加しているまたは、参加したいと思っている
2. 内容によって参加するものもある
3. 以前は参加していたが、最近はあまり行かなくなった
4. 一度も参加したことがない

Q 11 Q 10で「3または4」と回答した方にお聞きします。

参加しない理由はなんですか。

例：イベントに魅力がない。 興味が無い。 イベントがあることを知らない。

Q 1 2 どんなイベントがあったら参加したいですか。

例：盆踊り 花火大会

Q 1 3 あなたにとって中心市街地とは、どんなイメージですか。

また、本来どのようにあるべきだと思いますか。

例：賑やかで活気あふれるまち 歩行者が多いまち 行きたいお店が多いまち

Q 1 4 中心市街地の良いところ、便利なところはどこですか。

(該当する番号に**3つまで〇印**を付けて下さい)

1. 自宅や勤務先等から近い、交通の便が良い
2. 人との交流や情報が得られる
3. 高度な医療が受けられる
4. 公共サービスが充実している(市役所、金融機関など)
5. 昔からの顔なじみである
6. 買い回りがしやすい
7. 魅力ある個店がある
8. 商店街の雰囲気が良い
9. ウィンドウショッピングができる
10. イベントがある
11. 文化的な教室などがある
12. 駐車場・駐輪場がある
13. その他 ()

Q 1 5 中心市街地の悪いところ、不便なところはどこですか。

(該当する番号に**3つまで〇印**を付けて下さい)

1. 魅力ある個店がない(品数が豊富でない等)
2. 駐車場・駐輪場がない
3. 大型店舗がない
4. 自宅や勤務先等から遠い
5. 買い回りがしにくい
6. 商店街の雰囲気が悪い
7. 接客態度が悪い
8. 人との交流がわずらわしい、知っている人に会いたくない
9. その他 ()

Q 1 6 あなたは、今の中心市街地に何が必要だと思いますか。また、何があったら利用しますか。

(該当する番号に**3つまで〇印**を付けて下さい)

1. 共同駐車場、駐輪場
2. 魅力的な店舗
3. 娯楽施設
4. オフィスビル
5. 高齢者向け施設
6. 道路や街並みの整備
7. 市の物産品を集めた土産物店
8. バリアフリーに配慮した歩道
9. 快適な環境を生む並木、植栽
10. 出張所など行政窓口
11. 市民が集まれる場
12. 幼児等を短時間預かってもらえる場
13. 子供の遊び場
14. その他 ()

Q 1 7 上記Q 1 6 で選択した項目について、具体的な施設、お店、場所などがあればご記入ください。
※個店名でも構いません。

[]

Q 1 8 中心市街地の活性化は必要だと思いますか。

1. 必要だと思う。
2. 必用でないと思う。
3. よく分からない。

Q 1 9 最後に、今後の会津若松市のまちづくりに関するご意見がありましたら自由にご記入ください。

[]

【回答者の属性】

ご回答者の属性についてお聞かせください。

ア. あなたの性別を教えてください。

1. 男性
2. 女性

イ. あなたの年代を教えてください。

1. 20歳未満
2. 20～29歳
3. 30～39歳
4. 40～49歳
5. 50～59歳
6. 60～69歳
7. 70歳以上

ウ. あなたの職業を教えてください。

1. 会社員
2. 教員・公務員
3. 自営業・会社経営(農業等含む)
4. パート・アルバイト
5. 専業主婦・主夫
6. 学生
7. 無職(特に職についていない)
8. その他

エ. あなたの家族構成を教えてください。現在同居されている家族についてお答えください。

1. 単身
2. 夫婦のみ
3. 親子(2世代)
4. 親・子・孫(3世代)
5. その他

オ. あなたの住んでいる地区を教えてください。市外の方は「その他」に市区町村名を記入ください。

1. 城北地区、行仁地区、日新地区、謹教地区、鶴城地区
2. 城西地区
3. 神指地区、町北地区、高野地区
4. 門田地区
5. 大戸地区
6. 東山地区
7. 一箕地区
8. 湊地区
9. 北会津地区
10. 河東地区
11. その他 ()

カ. 会津若松市に住んでいる年数を教えてください。

1. 生まれてからずっと (年)
2. 20年以上
3. 10年以上 20年未満
4. 5年以上 10年未満
5. 5年未満
6. 現在は会津若松市に住んでいない

アンケートへご協力いただいた全ての方に対して、感謝申し上げます。
ありがとうございました。

会津若松市
中心市街地活性化に関するアンケート

報告書
平成25年 1 月発行

会津若松市 観光商工部 商工課 中心市街地活性化グループ
〒 965-8601 会津若松市東栄町 3-46
TEL 0242-39-1252

株式会社まちづくり会津
〒 965-0816 会津若松市南千石町 6-5
TEL 0242-38-2822